

LEOPARD 2A6

MAIN BATTLE TANK



Pack 12
組立説明書

Stage93.....Stage100

AGORA
MODELS

アップグレードパックについて

アップグレードパックには、レオパルト2A6モデルの機能や動作性能を向上させる強化パーツが入っています。各パックで提供されるオリジナルパーツと交換してお使いいただけます。各ステージ最初のパーツ一覧に、アイコン(下掲)が付いているのが強化パーツです。強化パーツに交換するステージとパーツ番号を下掲しました。これを念頭に置いて作業を進めてください。

●Pack02 → Stage10 → パーツ10-1

砲身の反動を改善するソフトなスプリングです。パーツ10-1に付いているスプリングのネジを外し、アップグレードパックから10-1と書かれた新しいスプリングと交換してください。

●Pack02 → Stage10 → パーツ10-2

ガンバレルのアップ・ダウン動作のパフォーマンスを向上させる、ややハードなセッティングのスプリングです。

●Pack06・07・12

各パックにはホイールサスペンションスプリングが入っています。これらはレオパルトをディスプレイ用に制作する場合にのみ使用できます。組み立て段階でどちらのスプリングを使用するか選べますが、本モデルは各種ギミックが最大の楽しみです。ぜひ、アップグレードパックのスプリングを使って組み立てることをおすすめします。

●Pack09 → Stage75 → パーツ75-1

砲塔の旋回性能とヘッドライトなどの機能を向上させる新しいプリント基板です。

●Pack10 → Stage82 → パーツ82-1

砲塔の旋回性能を向上させる新しいケーブルです。

●Pack11 → Stage91 → パーツ91-1

主砲の音と反動を適切化する新しいプリント基板です。



強化パーツのアイコン。これが付いているパーツは、アップグレードパックのパーツをお使いください。

作業アイコンについて

各ステージの作業工程には、下記の作業アイコンやナンバリングが示されています。これは作業のアプローチ方法やパーツの識別を容易にするために付けられているものです。指示に従って組み立てましょう。



パーツを所定の位置に合わせて、しっかりとはめ込みます(押し込みます/差し込みます)。



ネジ山が壊れる可能性があるため、ネジの締めすぎに注意してください。



組み立ての画像をしっかりと確認して、部品の向きに注意してください。



小さなハンマーで優しく叩いてはめ込んでください。



瞬間接着剤を少量塗布して、作業を進めてください。



ここをクリックすると、組み立て動画を参照できます。



デカールをしばらく水に浸して、台紙からスライドさせて張り込む作業です。



ネジを取り外してください。



エキスパート tips は、すでにモデルを組み立てたエキスパートモデラーからの、作業効率化やパーツ補強などに関するヒントです。工程の入れ替え等も含まれます。エキスパート tips を採用するかは、製作者ご自身で判断して進めてください。

重要



「あとの工程で使用するパーツ」のアイコン。当該ステージで使用するパーツを含む場合もあります。あとの工程では、下のようにステージ番号やパーツ番号が示され、どこで開梱したかがわかります。



「19-4 パーツはステージ 21 で使う」



「ステージ19で開梱したMP ネジを使う」



「ステージ19で開梱した19-3パーツを使う」



「ステージ - 工程番号」で組み立てた保管パーツ

注意：基本、ネジにはこのアイコンは付きません。余ったネジはあとの工程で使用するの、番号を記して保管しておいてください(ネジは予備が1つ含まれます)。



ステージ93パーツ一覧

93-1  →100



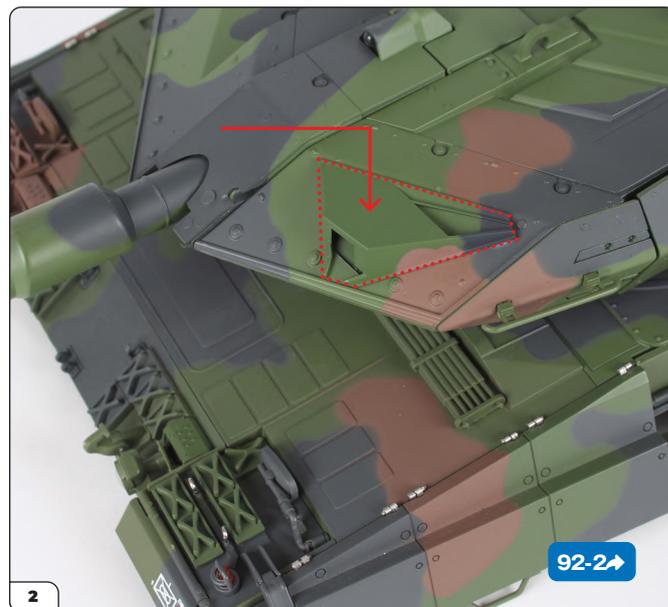
93-2



ACP×7



stage 93



stage 93

ステージ93の完了



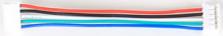


ステージ94パーツ一覧

94-1  →98



94-2  →98



94-3  →98



94-4

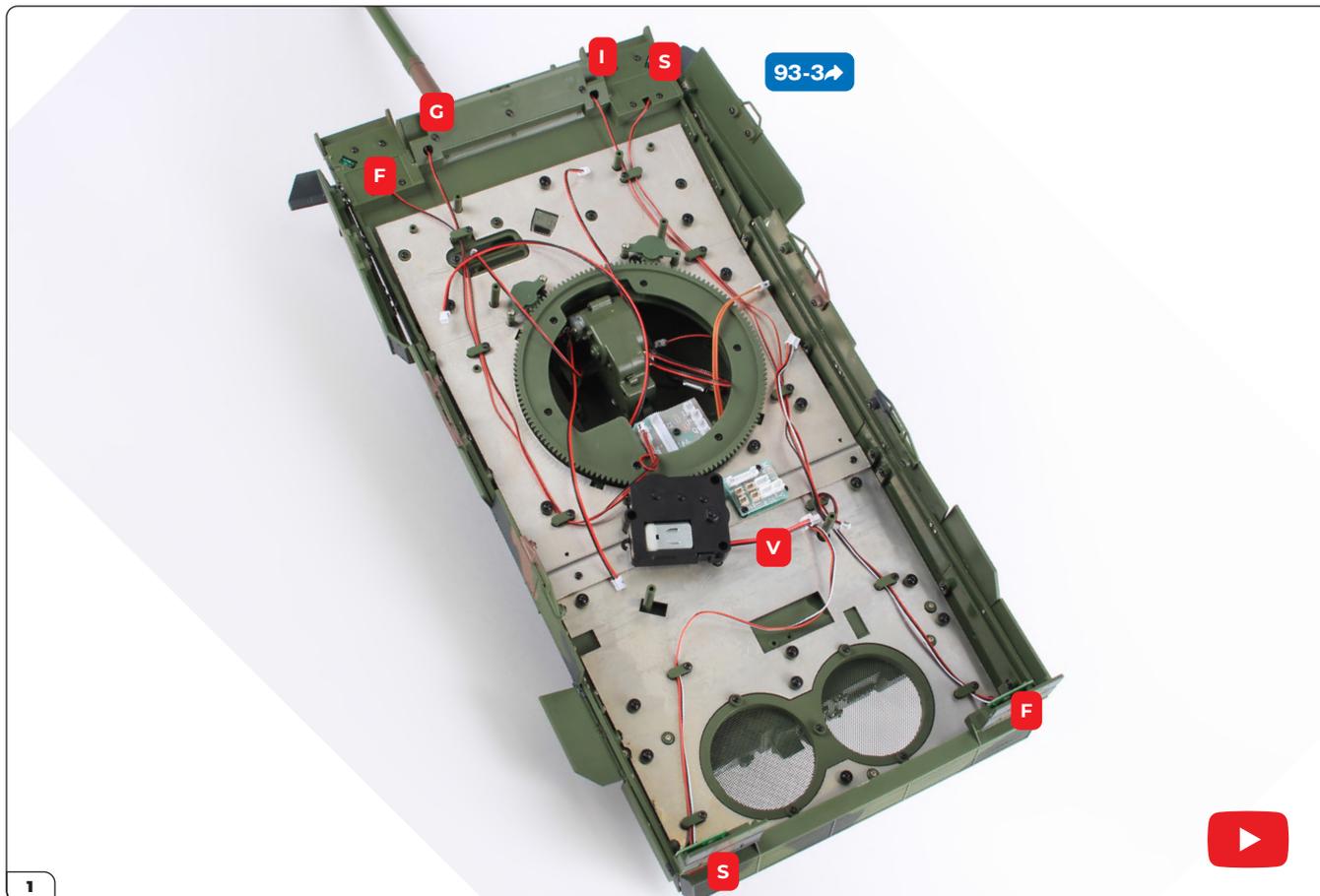


YP×7



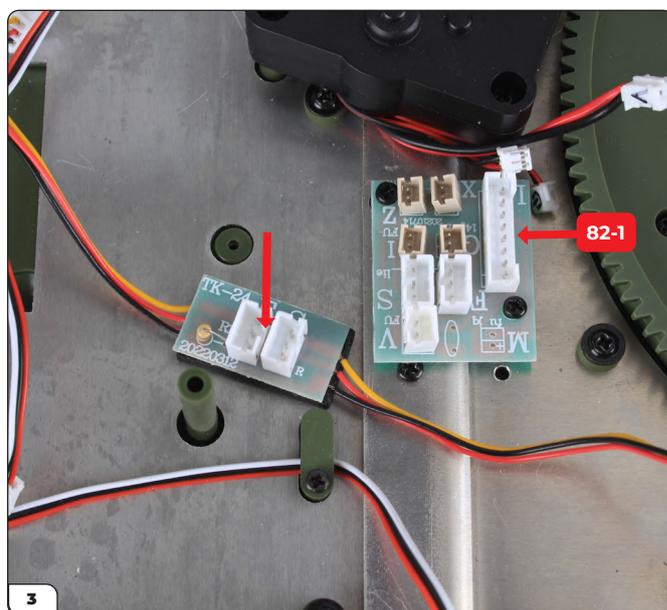
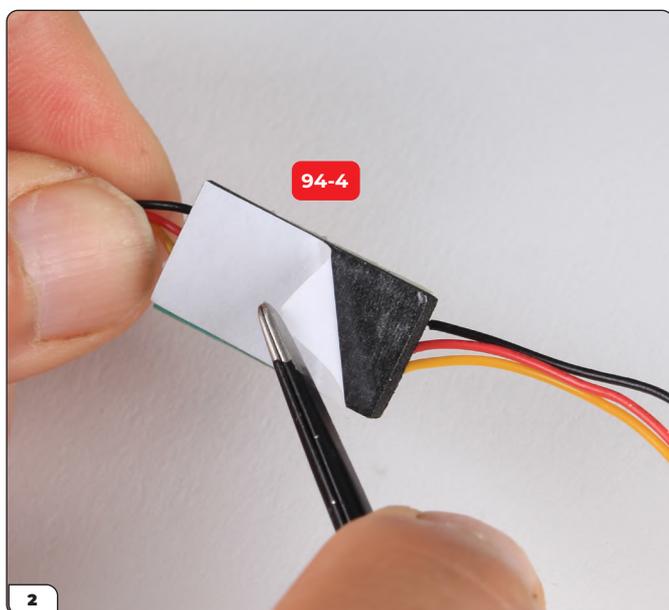
94-5&ABP×2

stage 94

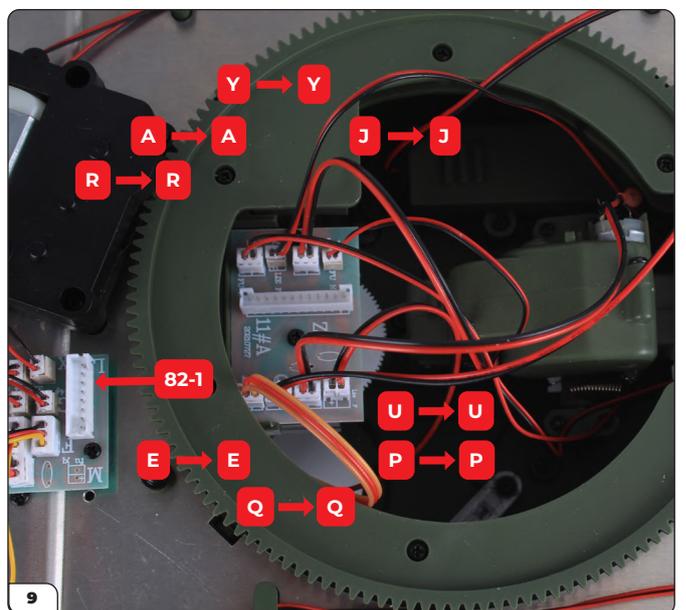
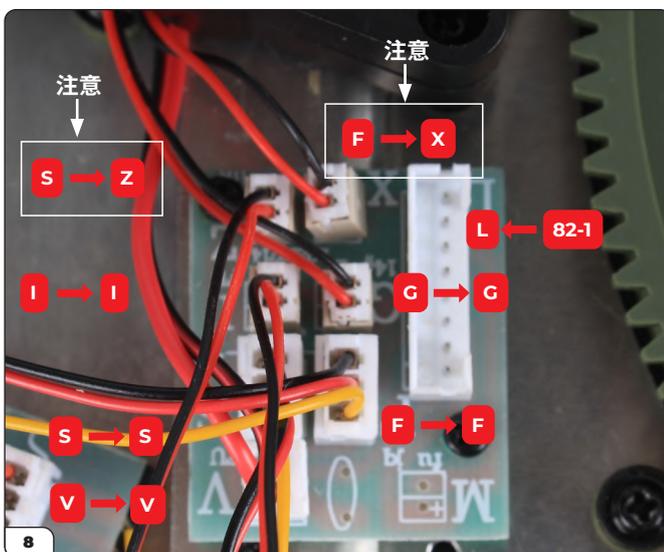
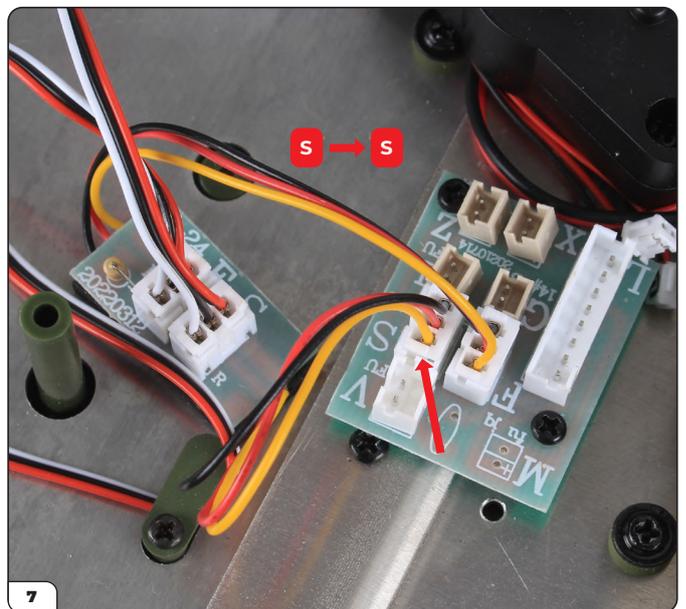
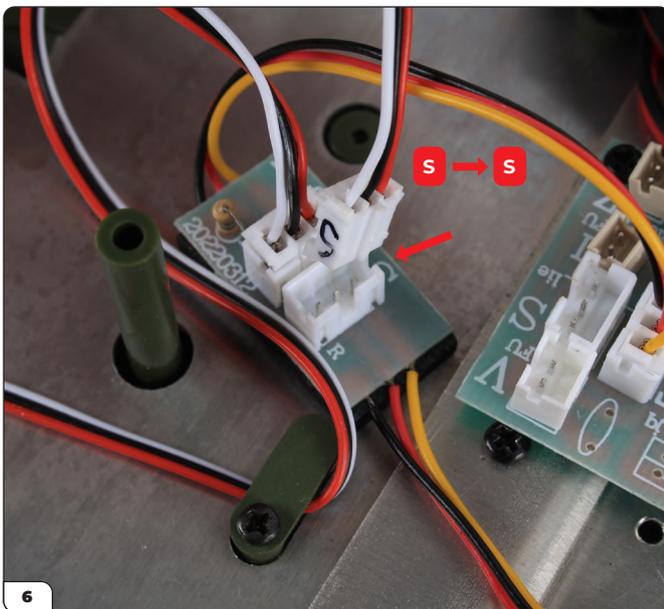
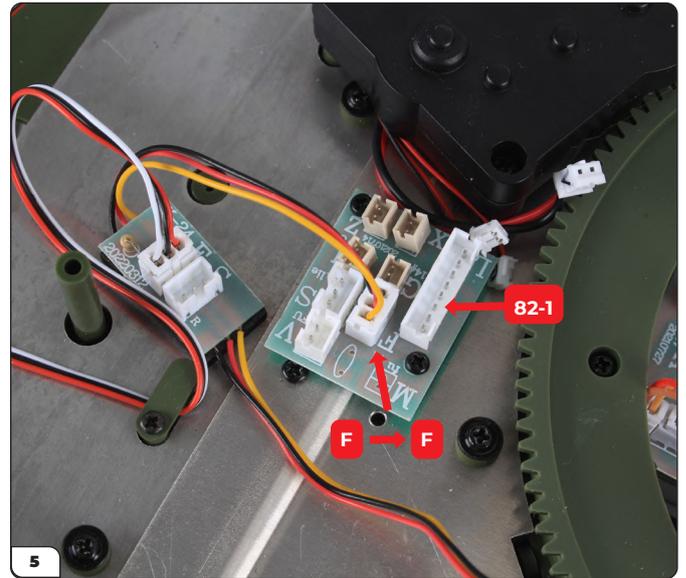
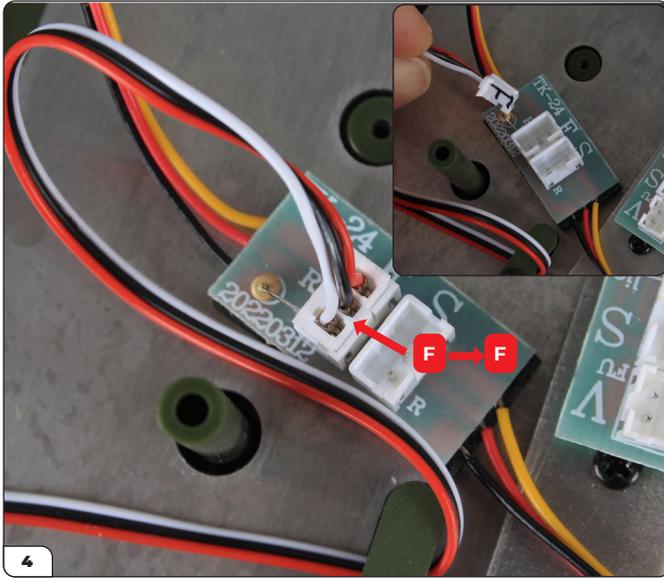


ケーブルを結線していく作業です。プラグ部分にはアルファベットが記され、プリント基板のソケットにも同様にアルファベットが記されています。同じアルファベットのソケットに、プラグを差し込んでいけば結線は完了です。しっかりと確認しながら慎重に作業を進めていきましょう。下掲のYouTube映像も参考にしてください。なお、94-1、94-2、94-3は、ステージ98のリモコン回路の結線に使用します。

<https://www.youtube.com/watch?v=LLXkMfk2nwM>

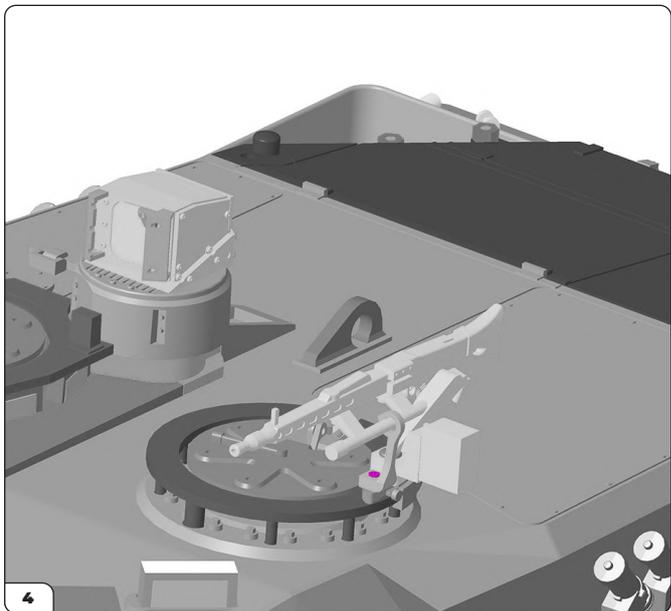
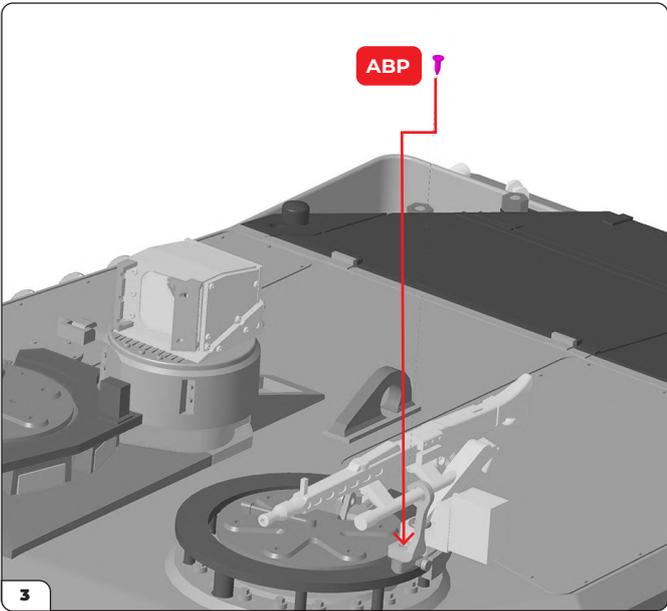
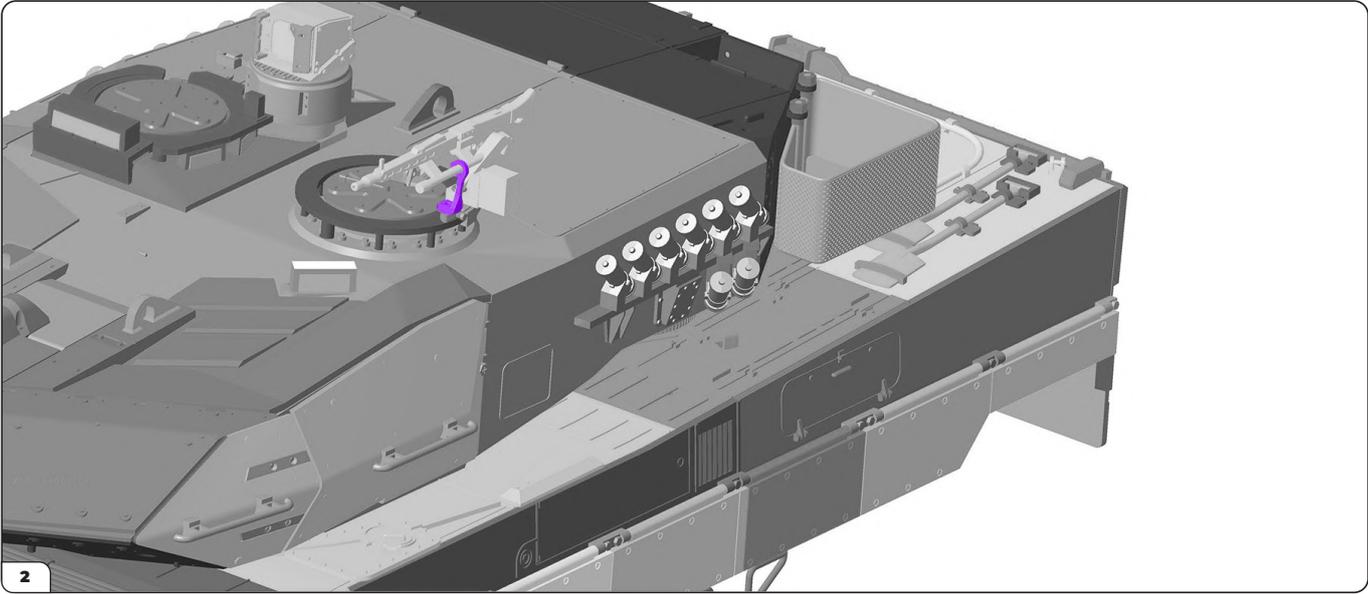
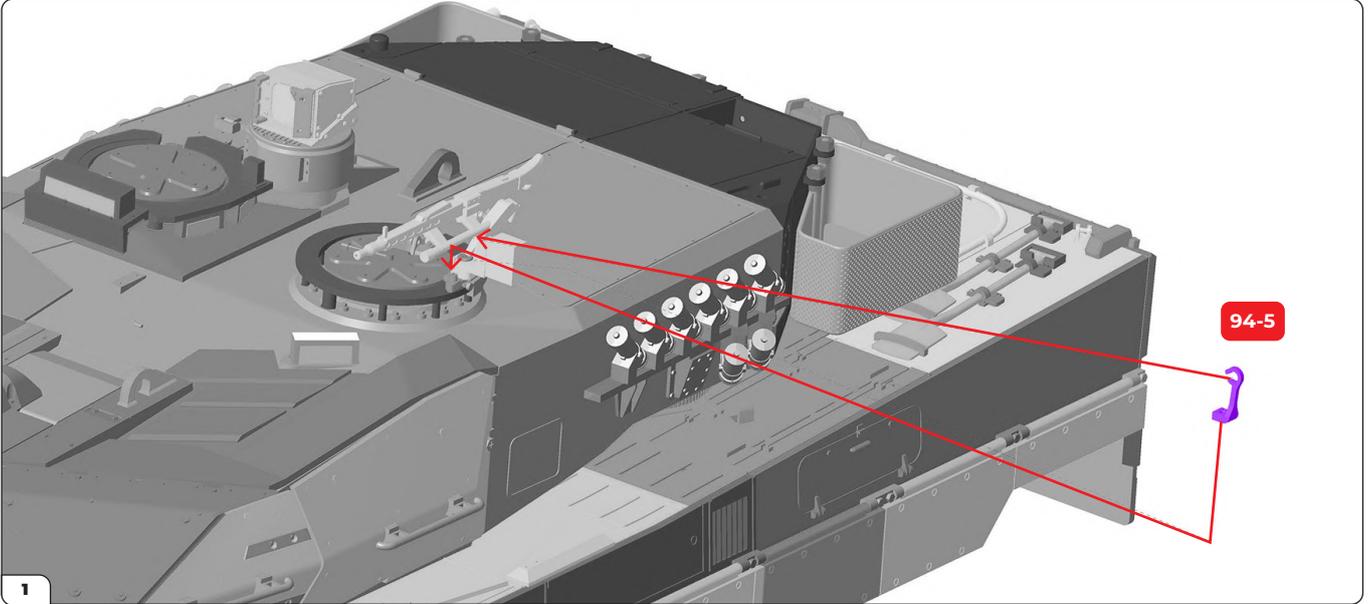


stage 94

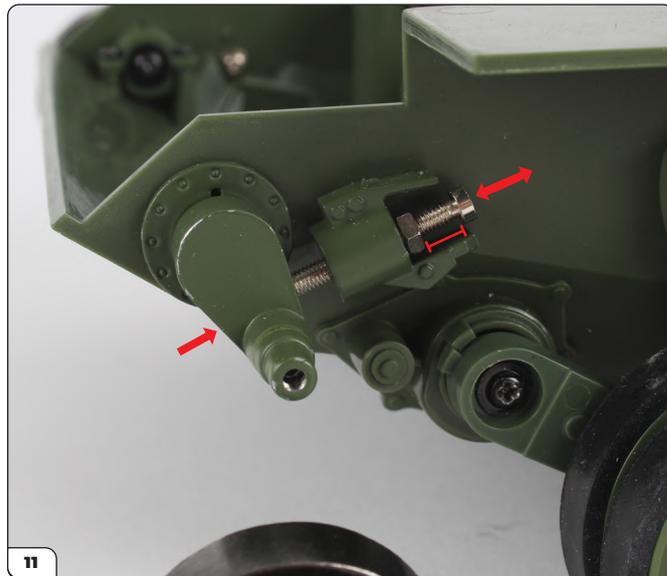
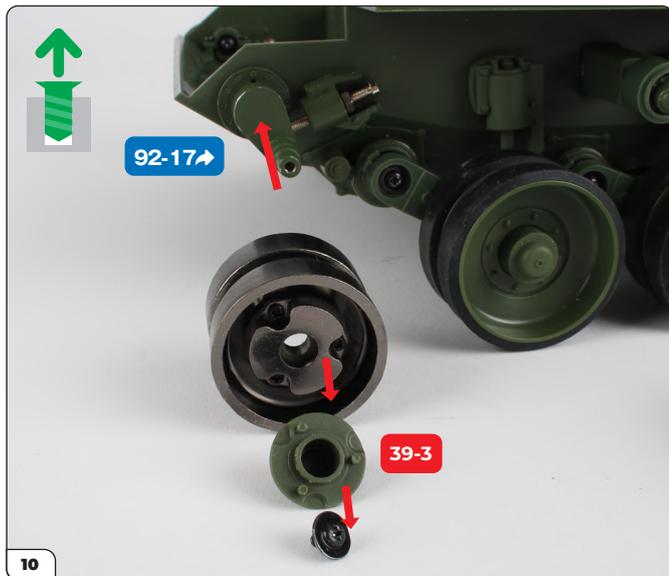


注意：工程4～7では、赤・黒・白ケーブルのSとFを接続しました。ここでは赤・黒ケーブルのSを基板のZ、同Fを基板のXに接続します。

stage 94

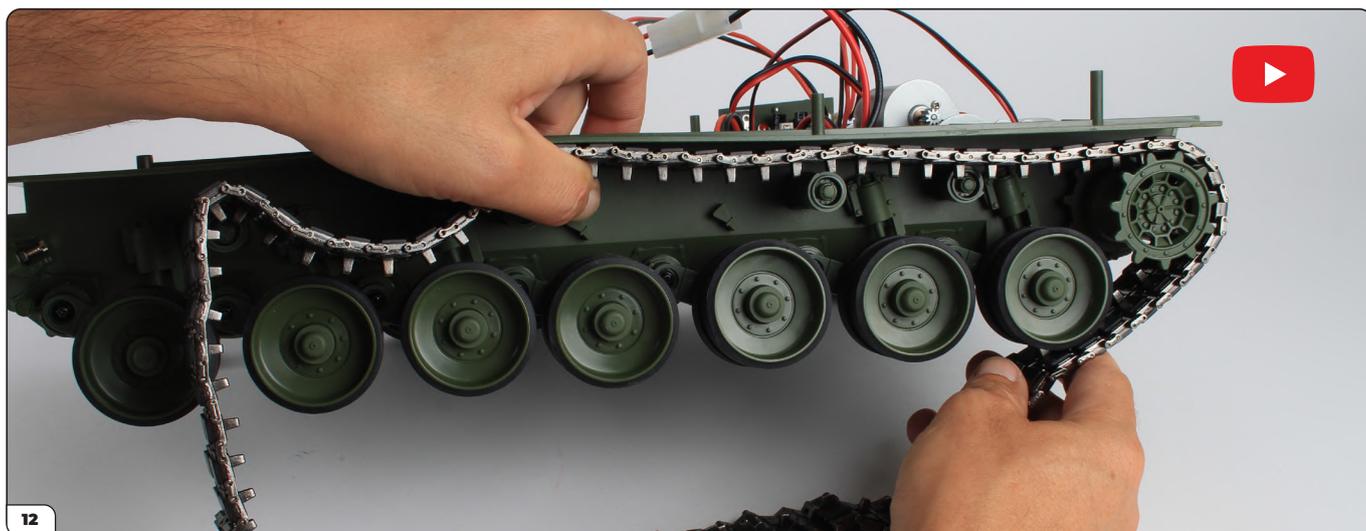


stage 94

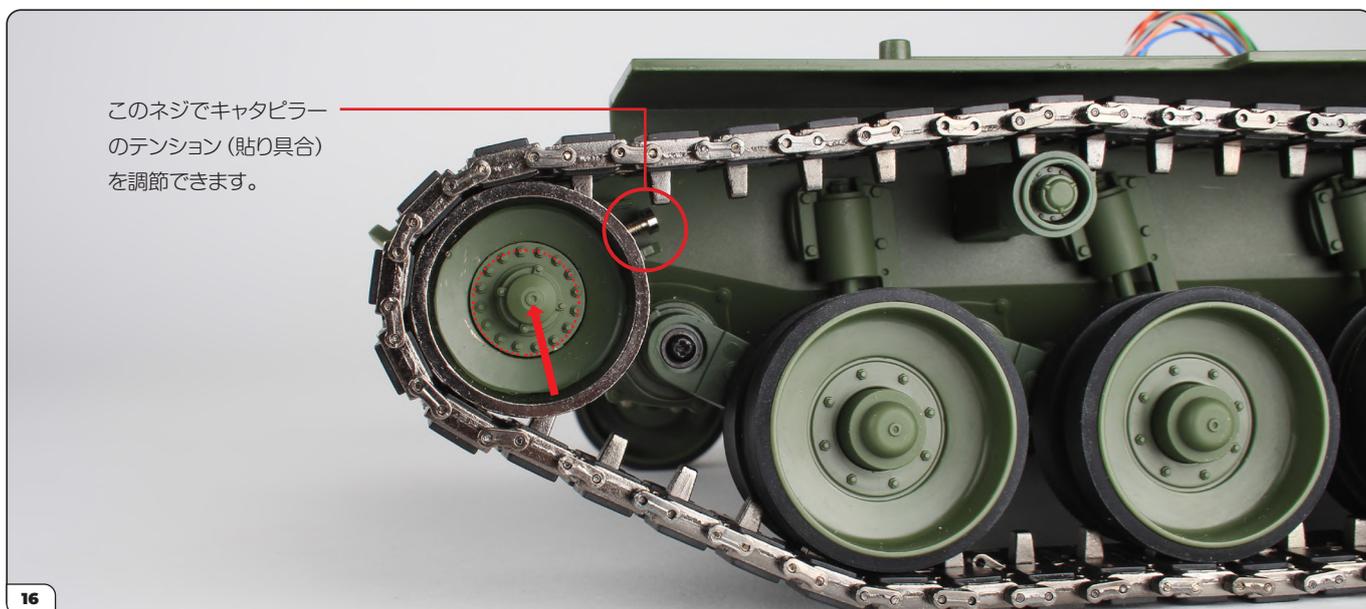
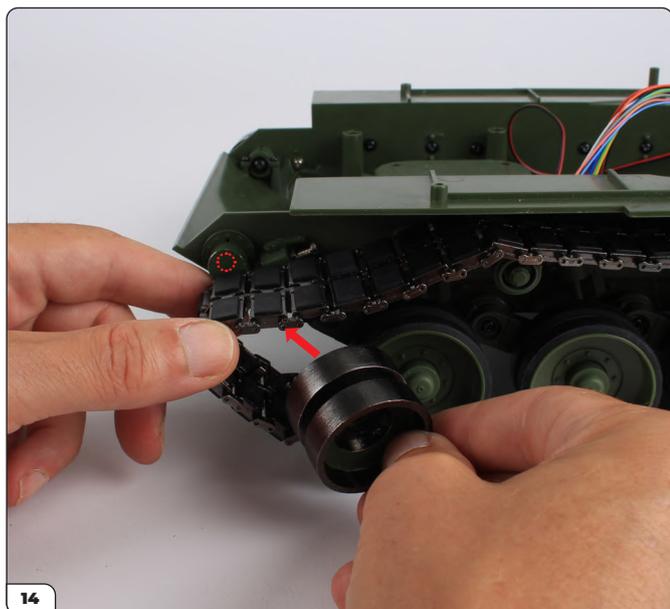


キャタピラーを本体に装着します。左右79枚ずつ連結したキャタピラープレートを用意もしくは余剰パーツを使って、ループ状の無限軌道にします。装着前に工程10・11のように前方の車軸をいったん外します。工程12以降が装着の工程です。下掲のYouTube動画も参照してください。

→https://www.youtube.com/watch?v=zjnizO_WNnw

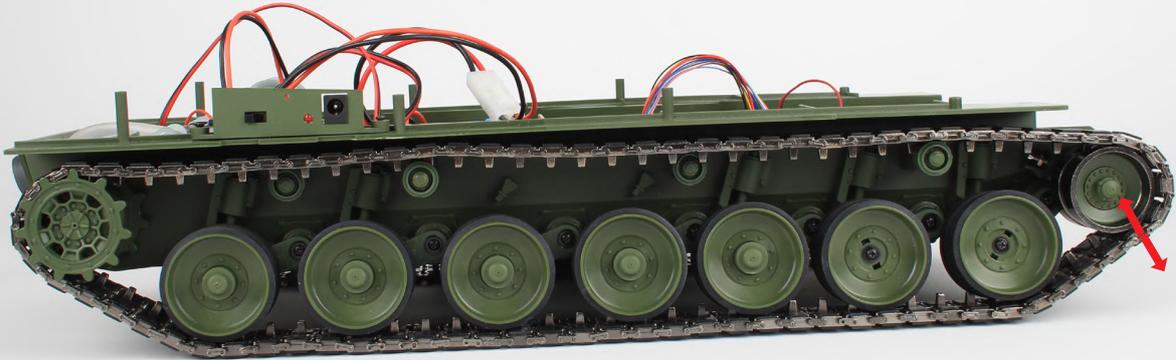


stage 94

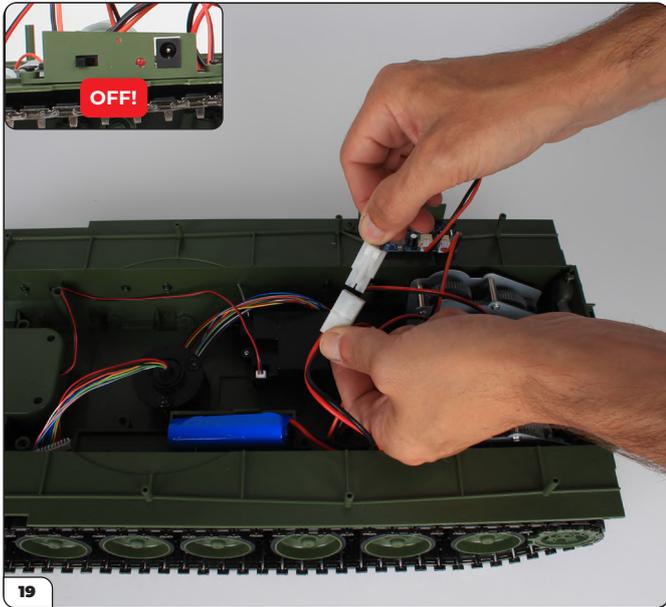


stage 94

N=x79 同様に右側も作業します。79枚のプレートで右側の無限軌道が完成しました。



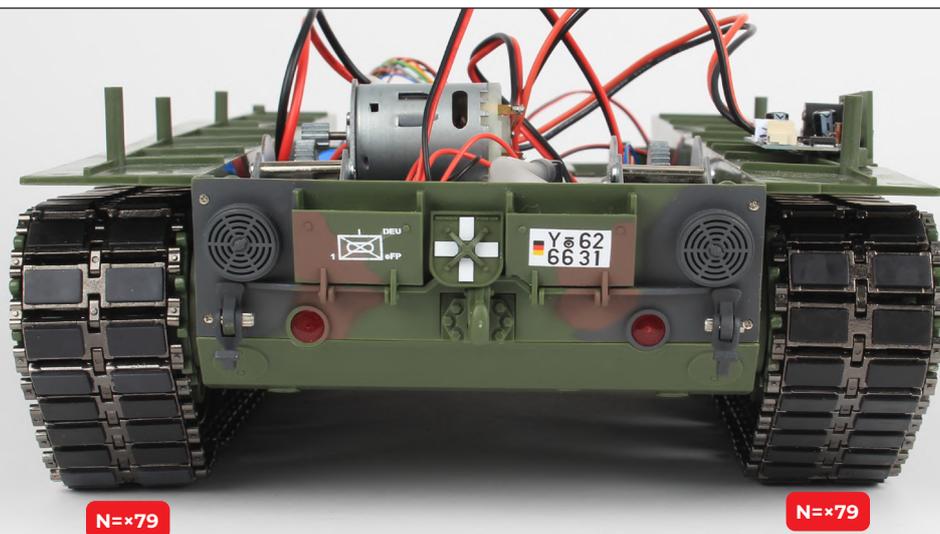
18



19



20

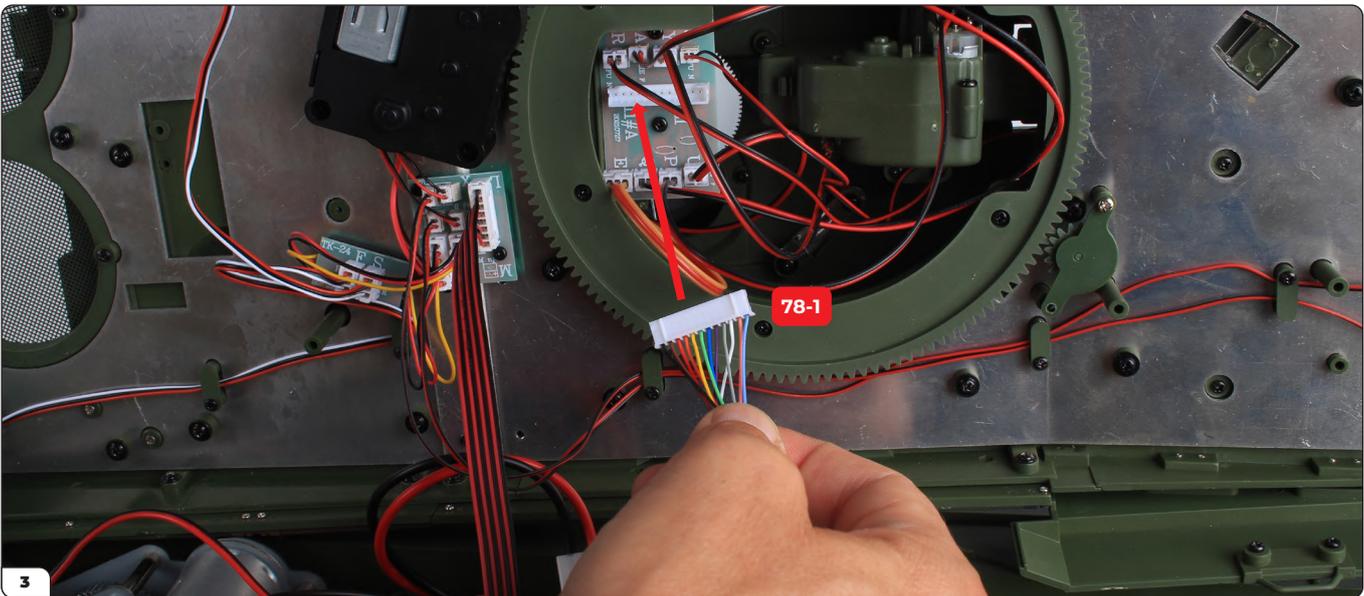
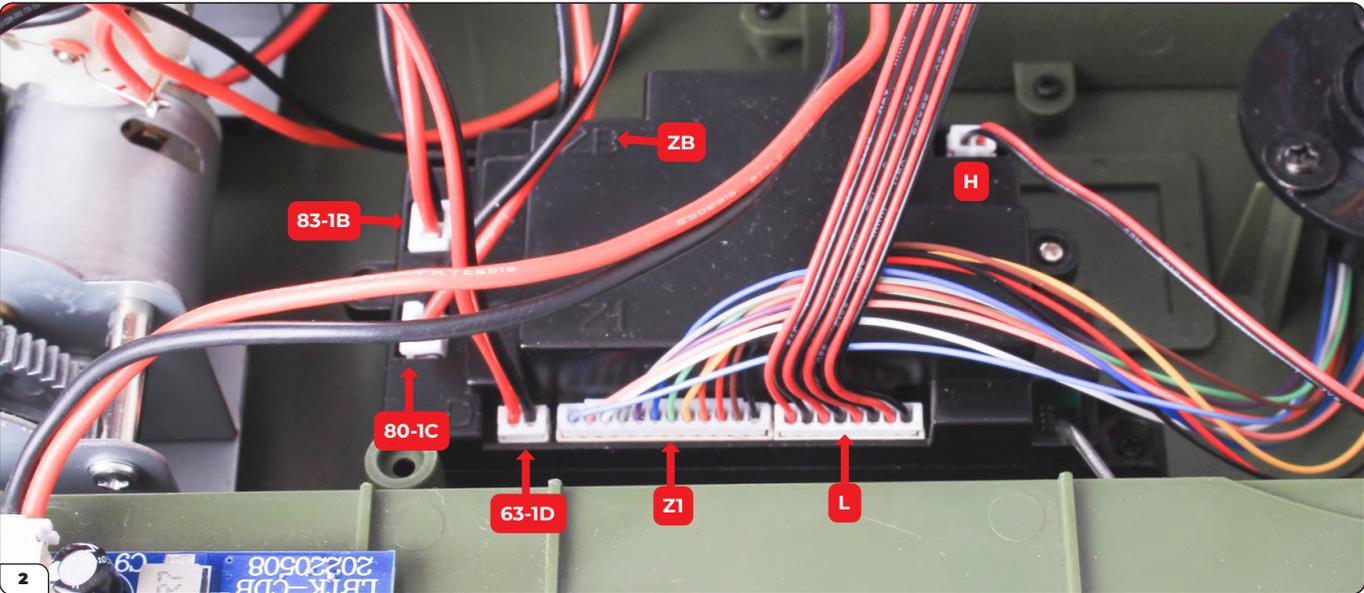
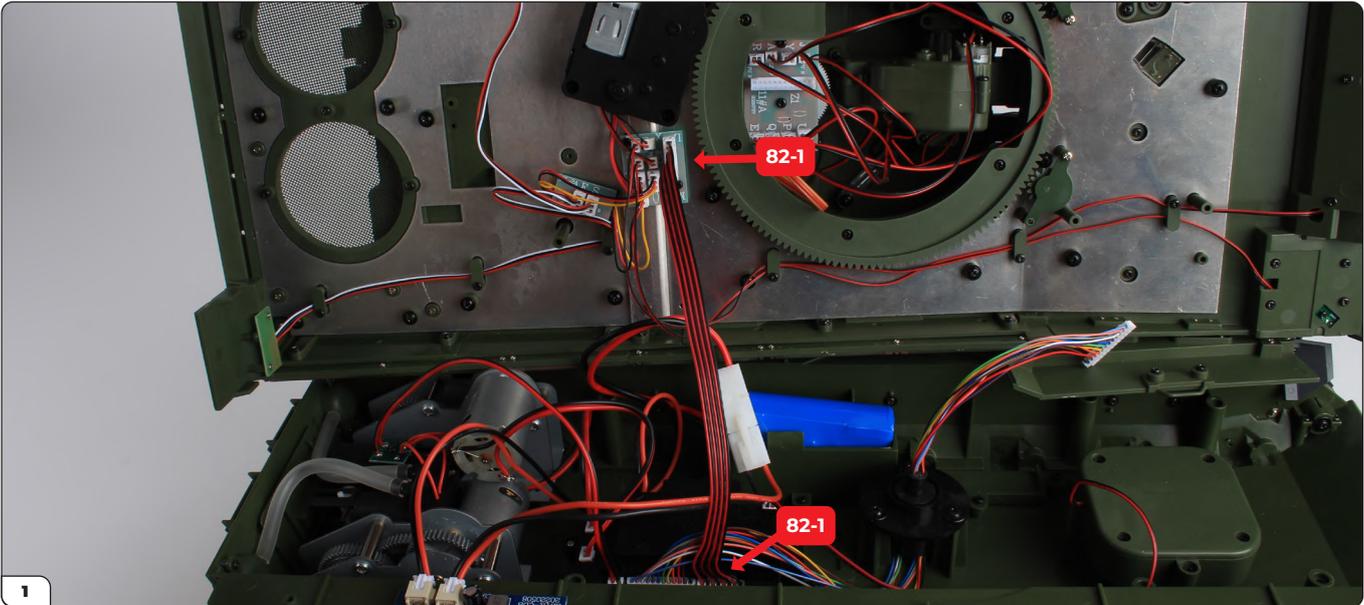


N=x79

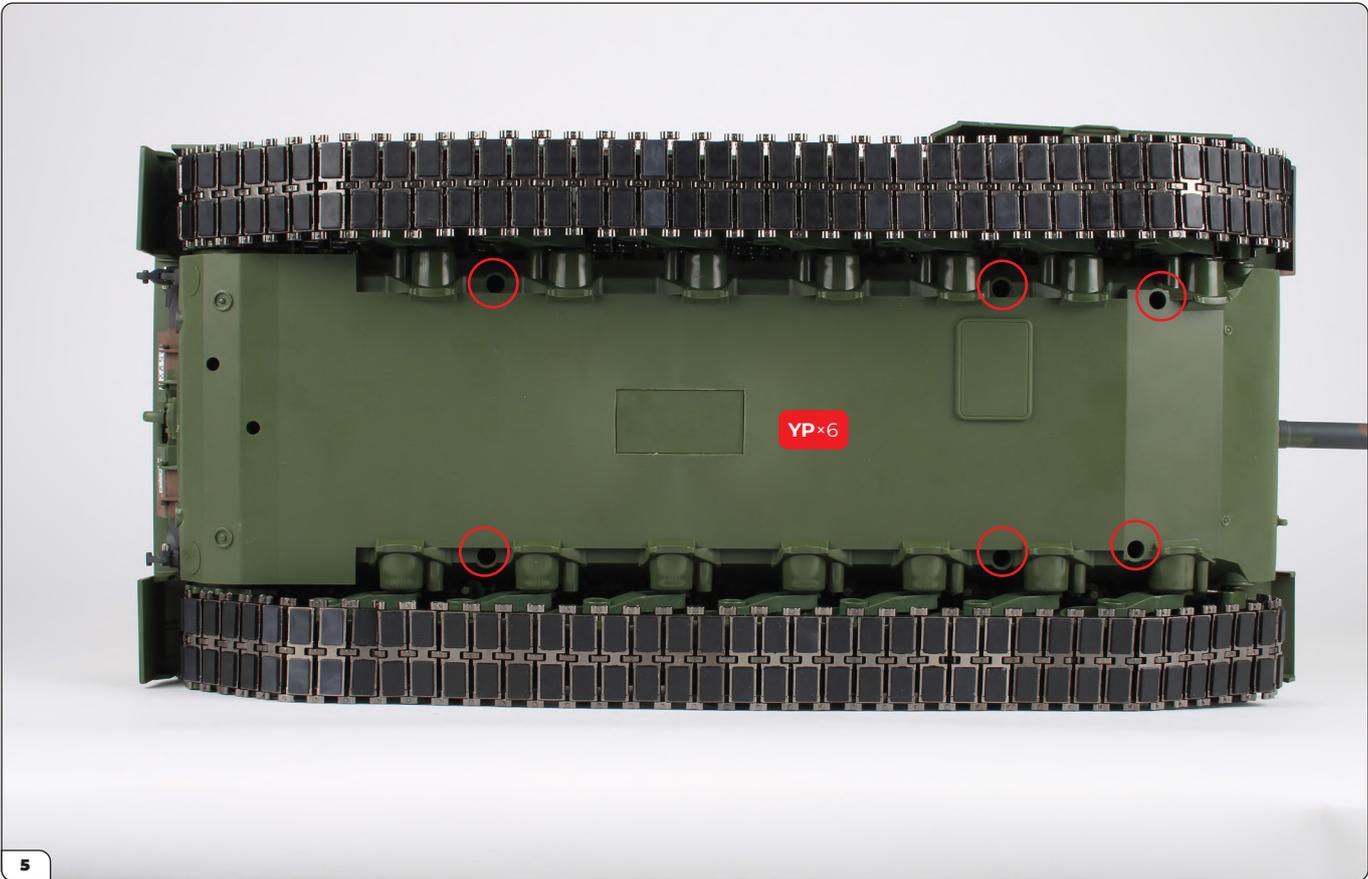
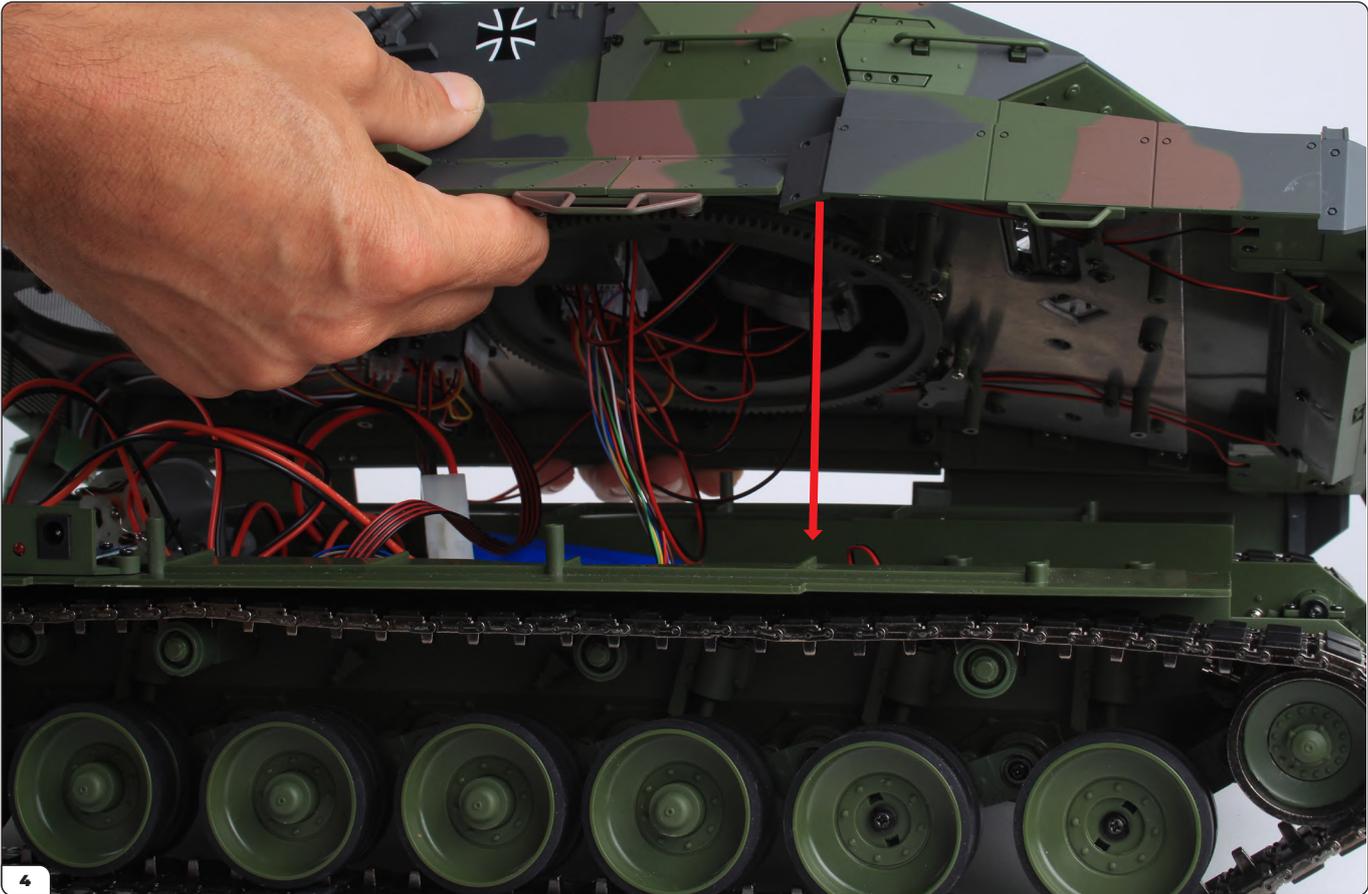
N=x79

21

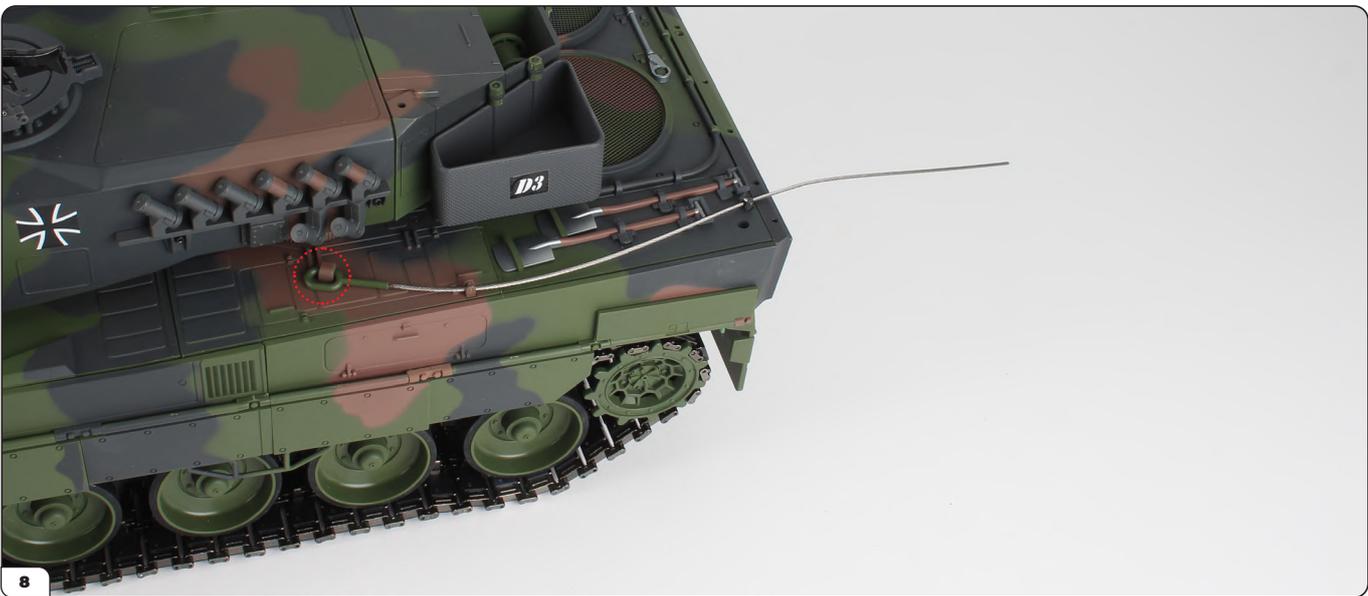
stage 94



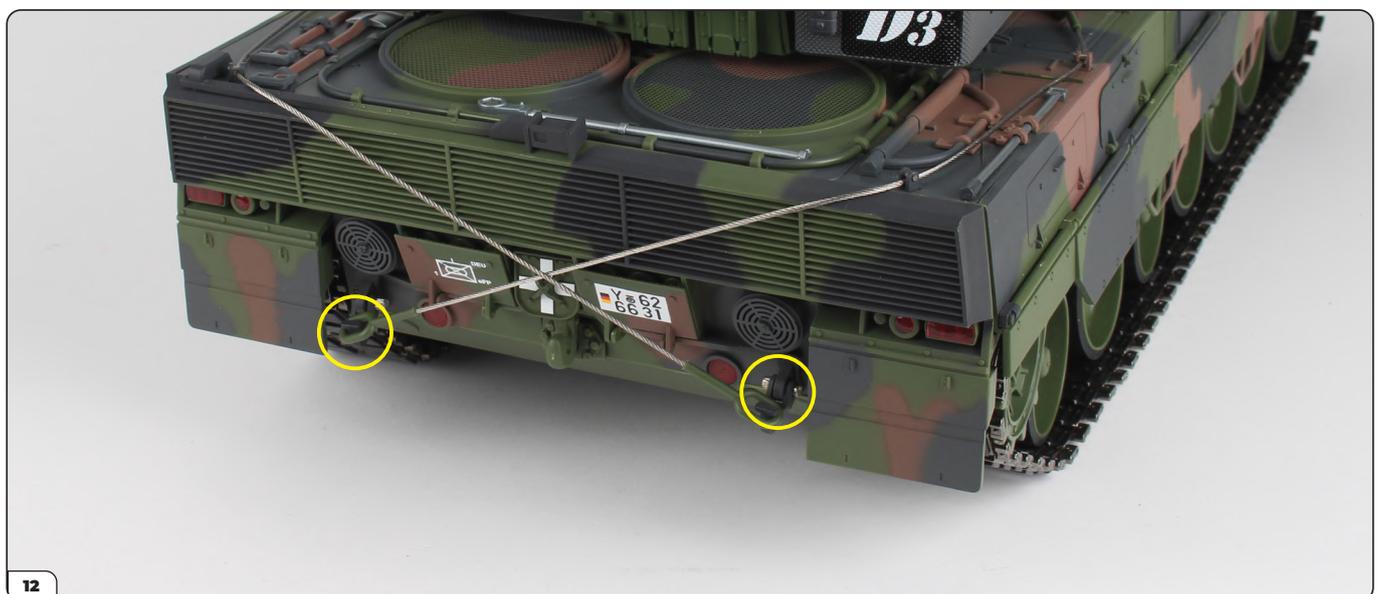
stage 94



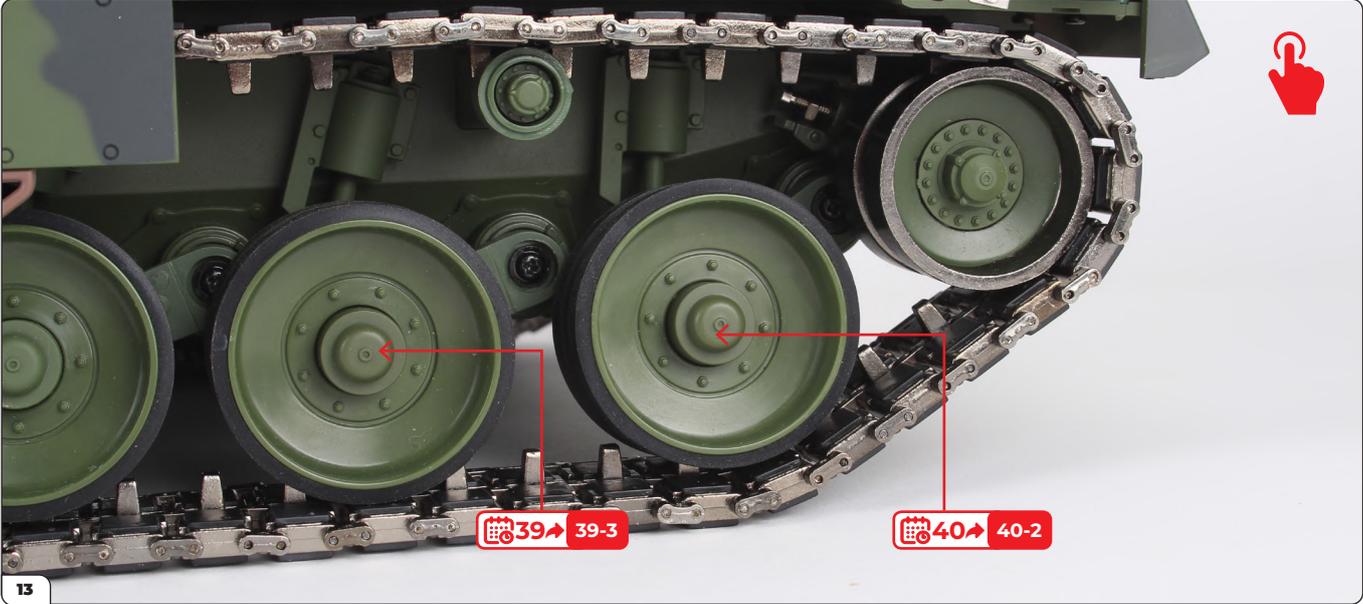
stage 94



stage 94



stage 94



stage 94 レオパルト本体の完成

ステージ94の完了



stage 95 リモコンの組み立て



ステージ95パーツ一覧

95-1  →98



このステージは開梱するだけです。次のステージに進んでください **96→**



ステージ96パーツ一覧



stage 96



stage 96

ステージ96の完了





ステージ97パーツ一覧

97-1



97-2



97-3



97-4



CP×6



stage 97



stage 97

ステージ97の完了





ステージ98パーツ一覧

98-1



CP×5



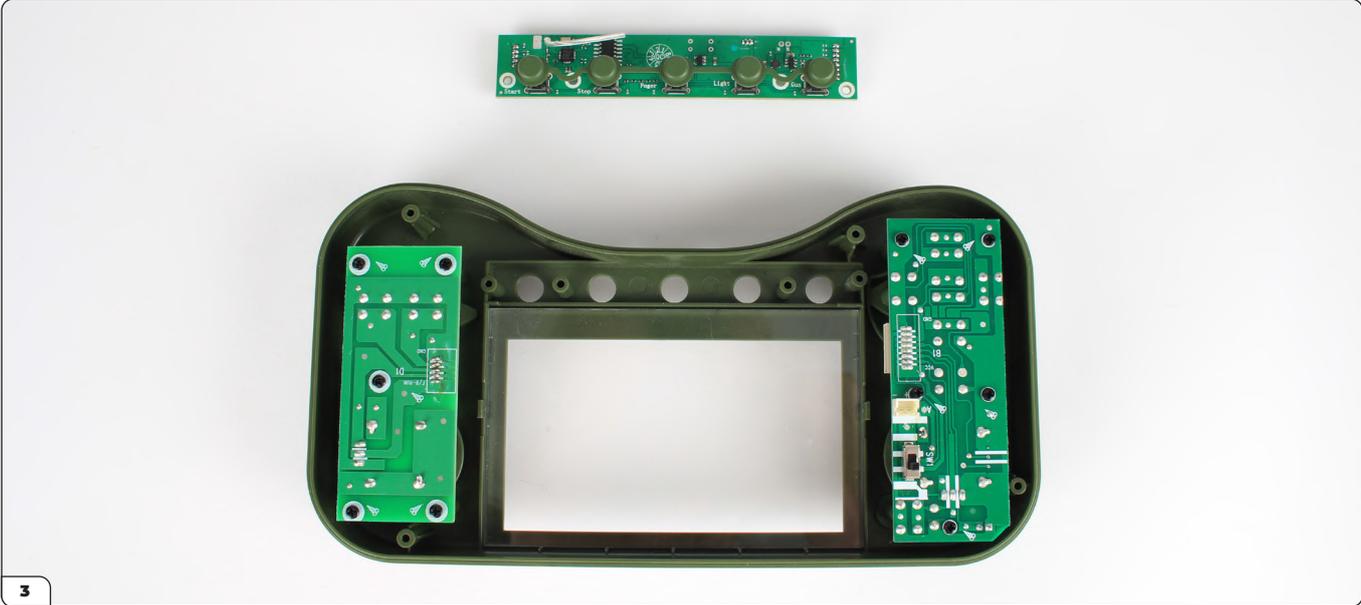
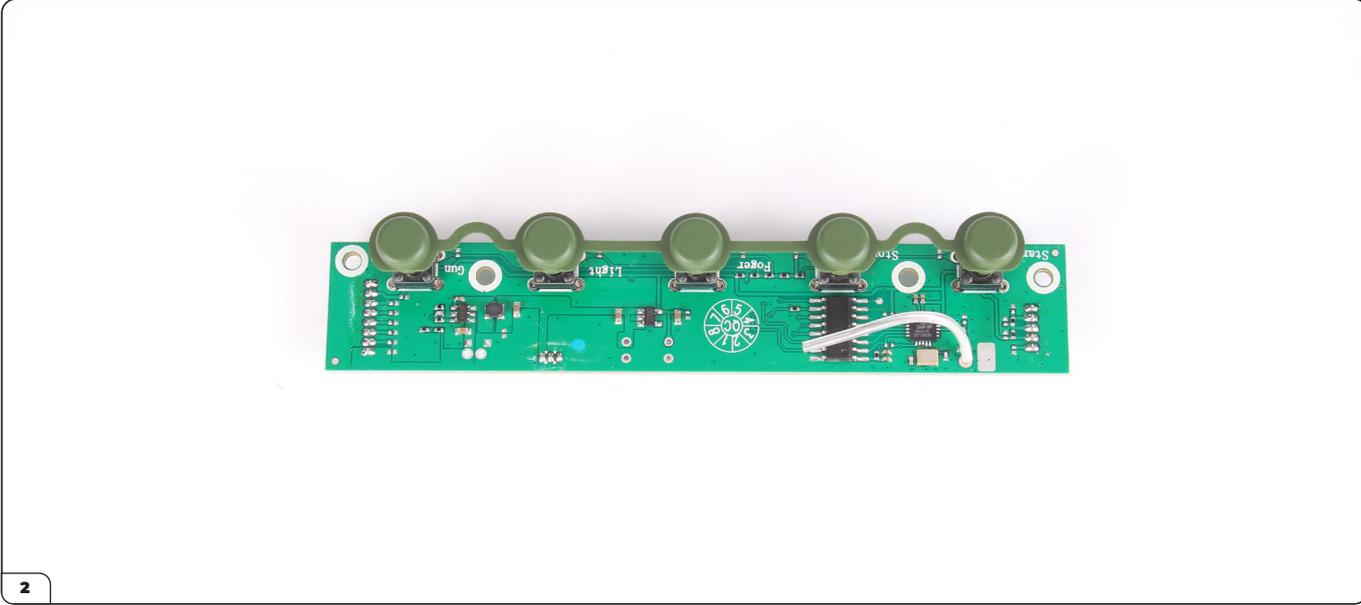
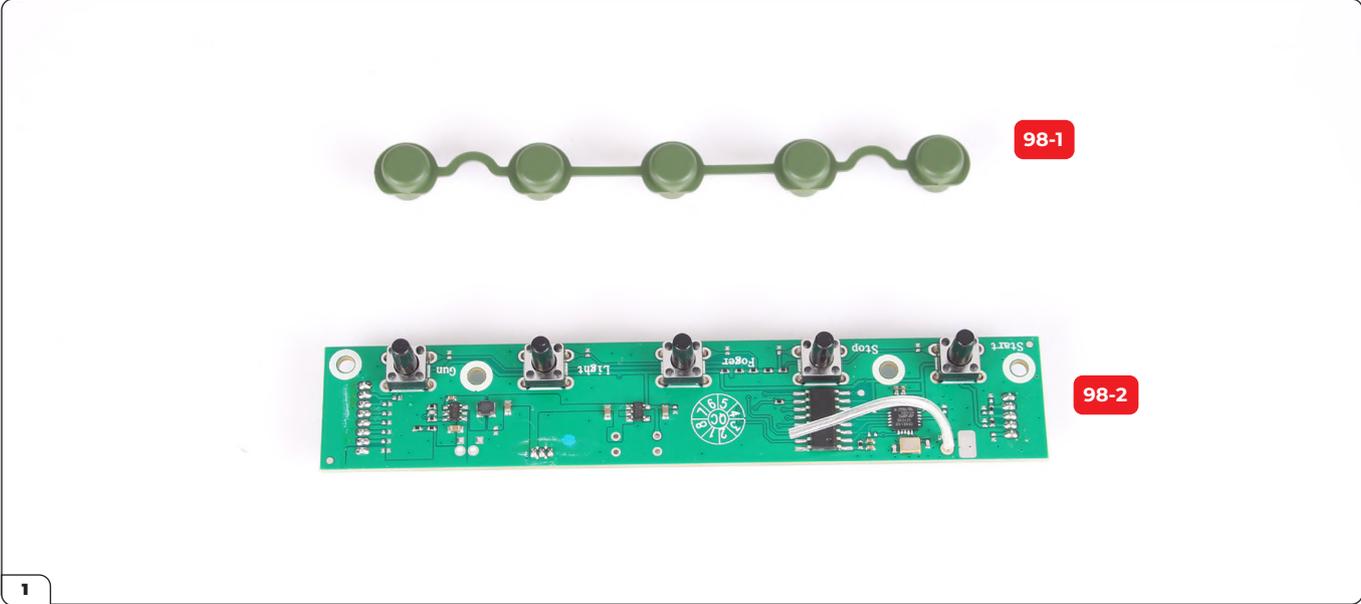
98-2



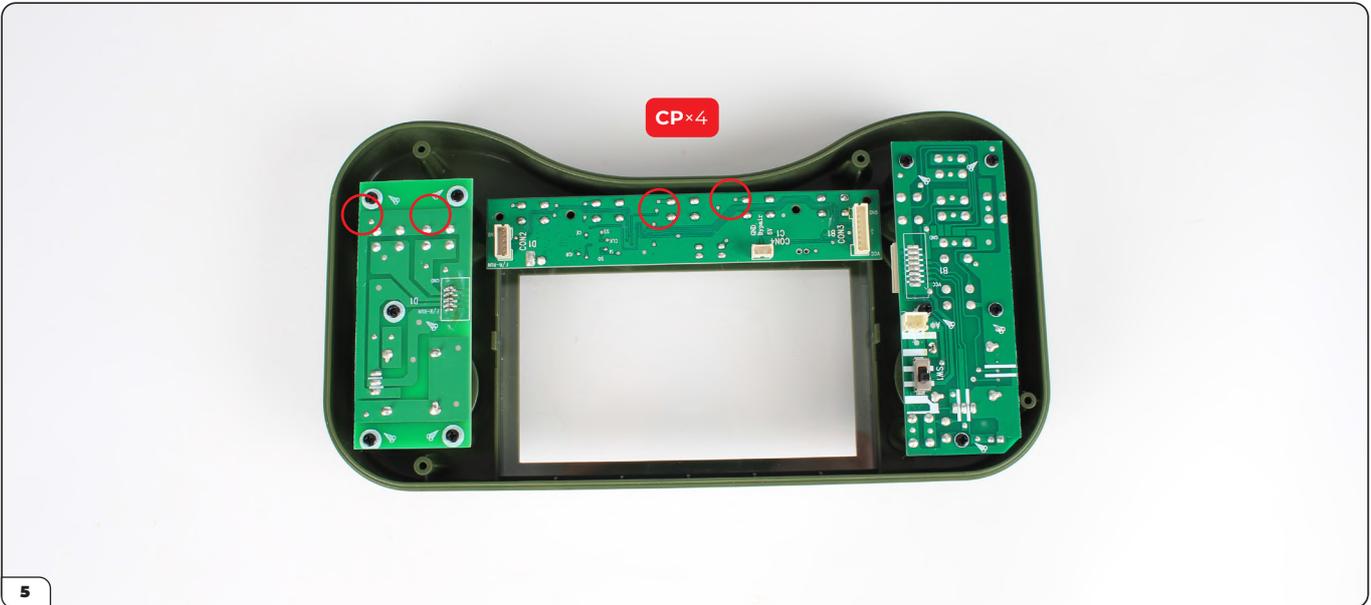
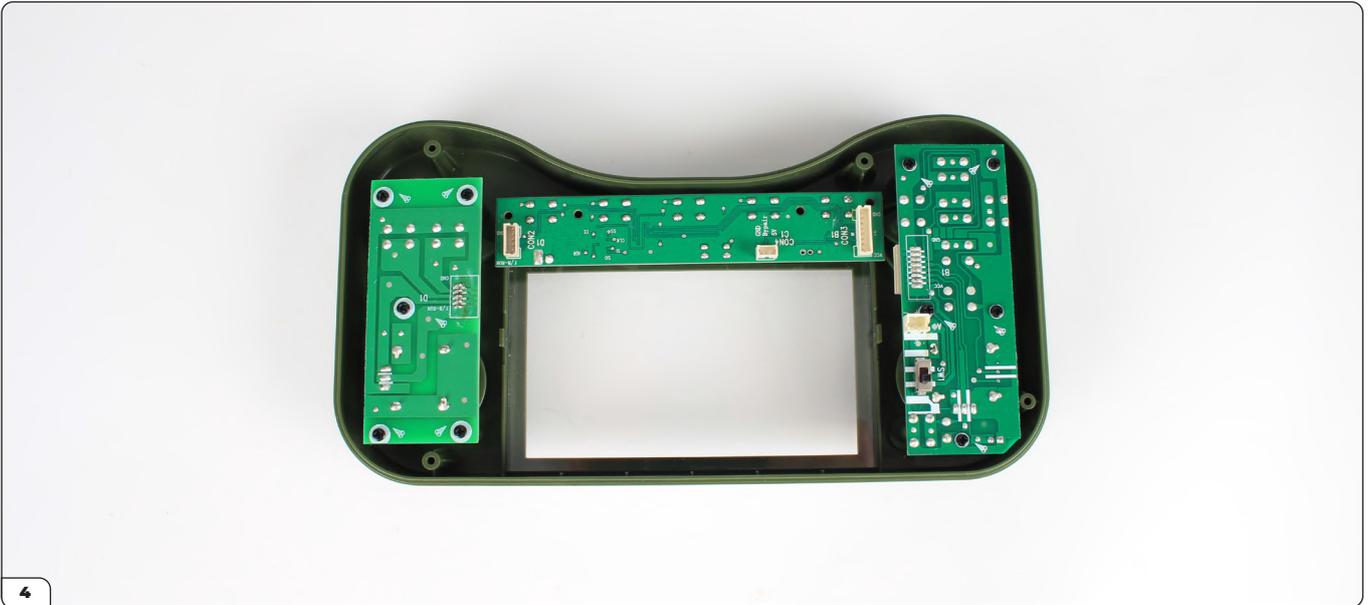
CP×5



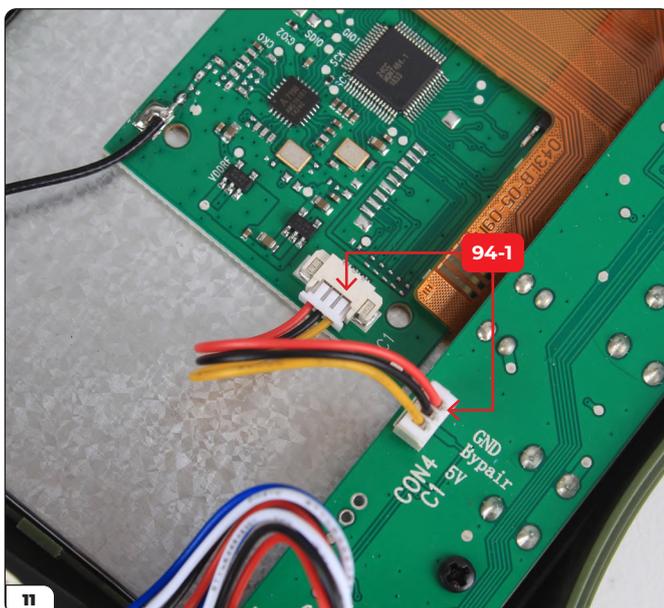
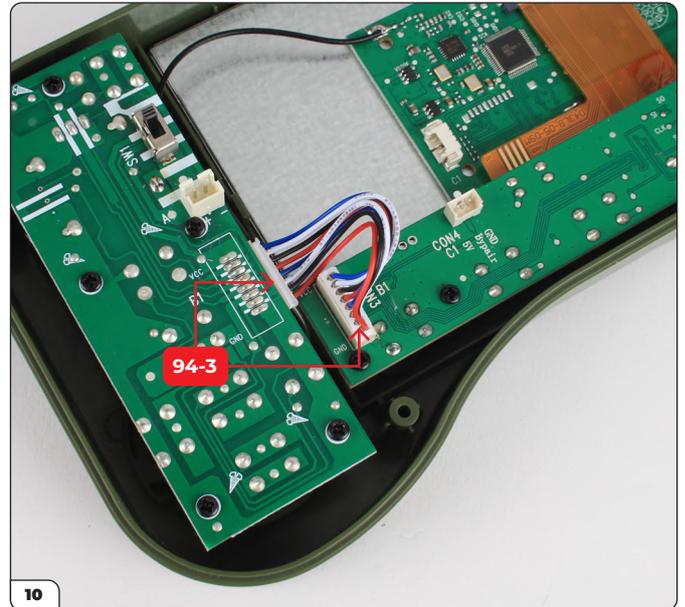
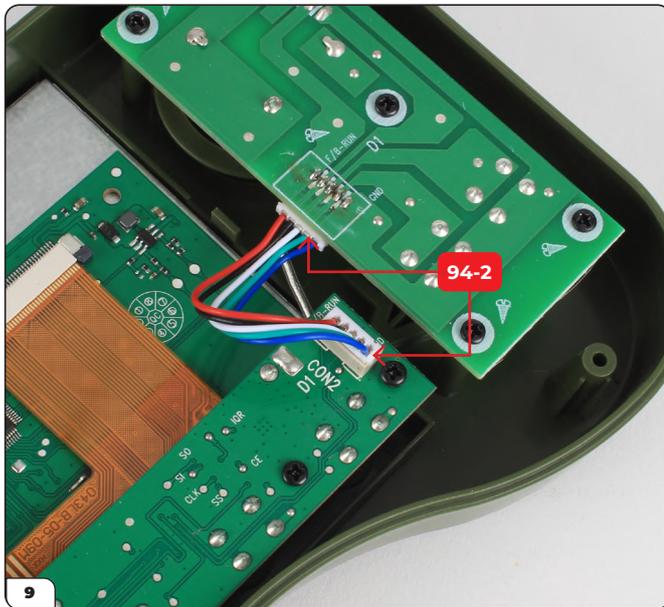
stage 98



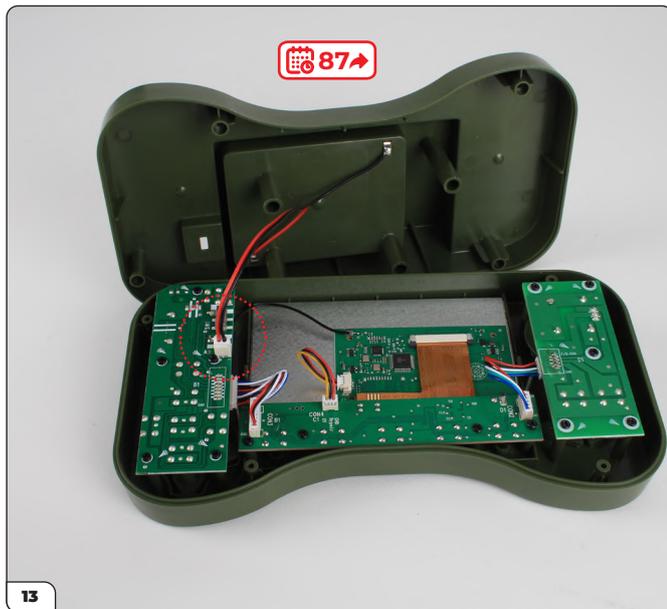
stage 98



stage 98

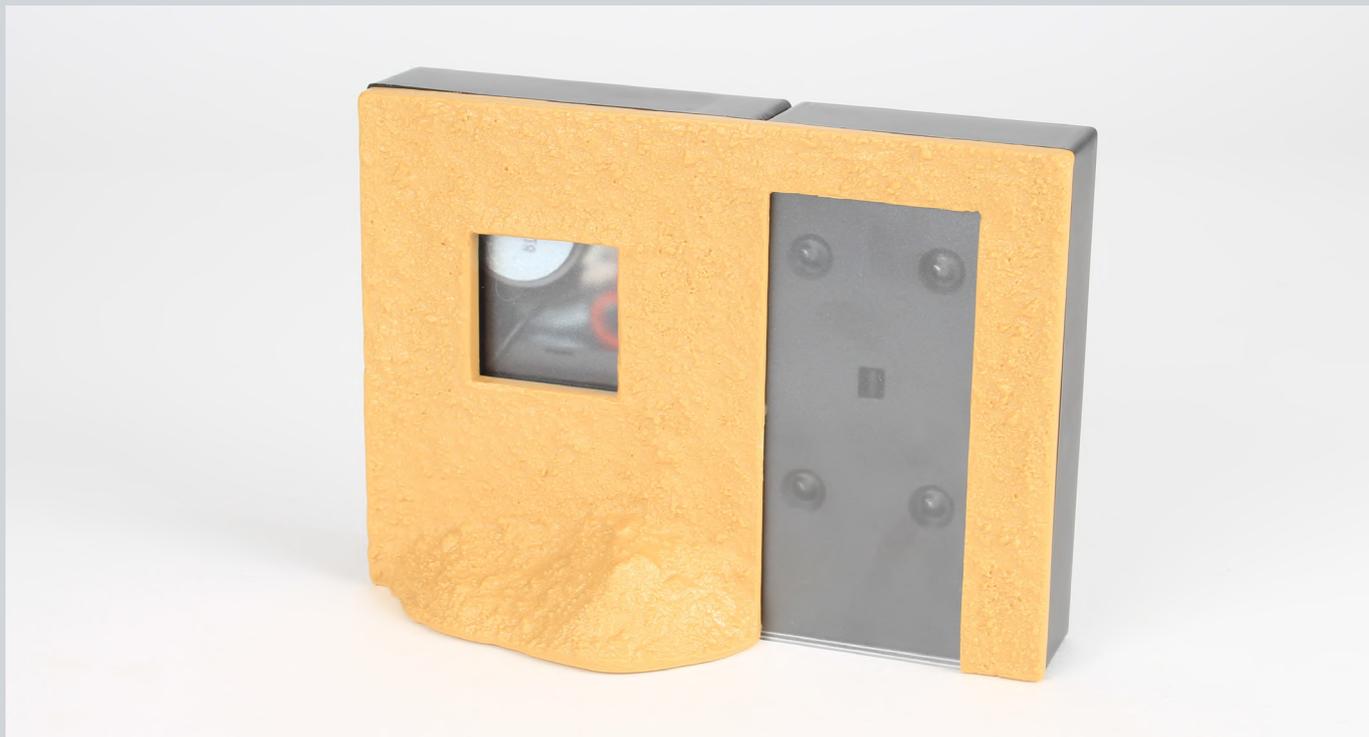


stage 98



ステージ98の完了



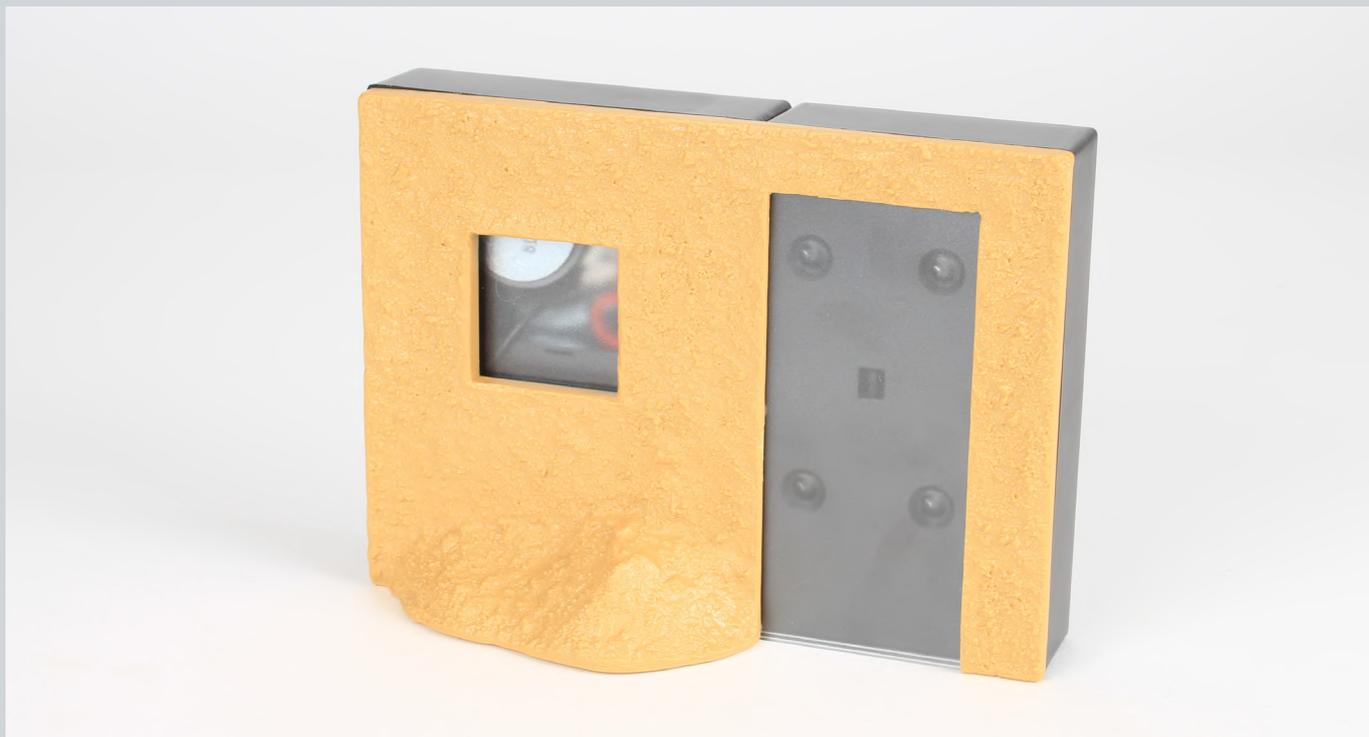


ステージ99パーツ一覧

99-1



このステージは開梱するだけです。次のステージに進んでください **100→**

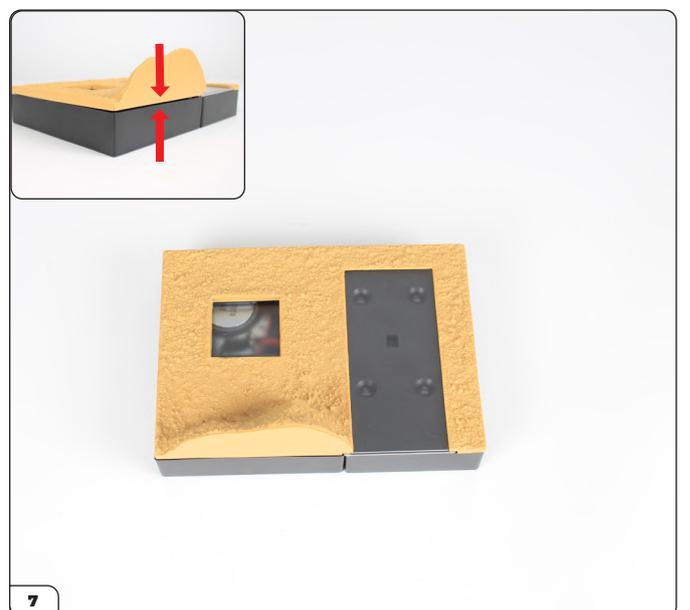
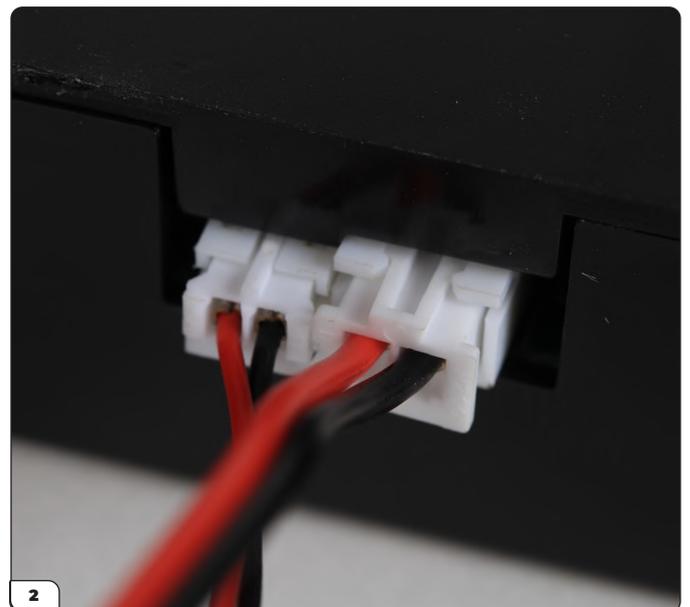


ステージ100パーツ一覧

100-1



stage 100



stage 100



ステージ100の完了



レオパルド2A6の組み立てはすべて完了です。

次のモデルをお選びいただくと、最初のパックが無料になります。

詳しくはagoramodels.comをご覧ください。



次頁でリモコンのオペレーションを解説しています。また、うまく動作しない場合には、後掲するトラブルシューティングやケーブルの配線図などを確認してください。

◎リモコンのオペレーション◎

本体とリモコンを無線でペアリングさせるボタンです。

裏面にリモコン本体のスイッチがあります。最初に裏面のスライドスイッチをONにして、このコネクトボタンを押してください。続いてスタートボタン(赤丸)を押すと各種操作ができます。

前進・後進

360°

右回転・左回転

スタート

STOP

30sec

前照灯点灯

機銃掃射

砲弾発射

砲塔旋回

砲身の上下

左折・右折

ペアリングすると点灯します。

ボタンをクリックすると、約30秒後に発煙を開始します。止める場合にはもう一度押してください。

先端が光り、車体がスイングバックします。

モーターON

モーターOFF

◎充電アダプターの接続場所と発煙用オイル注入の注意点◎

右サイドの扉を開けると、電源スイッチと充電用のソケットがあります。

エンジン排気の発煙に使用するグリセリンオイルは、入れすぎに注意しましょう。適量は1~2mlです。

- ①グリセリンオイルのボトルは直射日光を避けて、直立状態で保管してください。
- ②子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
- ③無臭ですが、換気の良い場所で動作させてください。
- ④グリセリンオイルは絶対に飲み込まないでください。
- ⑤万が一飲み込んだ場合には、すみやかに医師の診断を受けてください。

適量がわかりにくければ、最初はオイルボックスの蓋を外して(ネジで簡単に外れます)、適量を確認してみましょう。内部の綿全体に軽くオイルが染み渡る程度が適量です。入れすぎると発煙しません。

ヘッドライトが点灯しない

原因	確認事項	解決策
プラグの接続不良／誤接続 ワイヤー断線または挟み込み ろう付け部の破損 LEDの不良 補助基板の不良	片方のライトのみが点灯しない場合 →プラグ (IまたはG) の接続を目視で確認 →プラグLの接続を目視で確認 →ワイヤーの断線や挟み込みがないかを確認 →補助基板プラグ (IまたはG) のろう付け部を確認 →補助基板プラグ (L) のろう付け部を確認 戦車の内部を開けて起動する →IないしG、またはLプラグのいずれかを触って動かし、反応を見る →LED付近のワイヤーを引いたり押ししたりして動かし、反応を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ●最初にプラグが緩んでいたら差し込む ●ワイヤーの断線や挟み込みがある →部品の交換、またはハンダ付けを行う必要がある ●LEDに触れば点灯する場合は、LEDの足のろう付け不良 →LEDライトの部品交換が必要 ●補助基板プラグのろう付け部が破損しているか、グラグラしているように見える場合 →部品交換が必要 ●補助基板プラグに触ればLEDが反応し、かつプラグがしっかりと差し込まれている場合、ろう付け不良 →補助基板の部品交換が必要
	両方ともライトが点灯しない場合 →プラグLの接続を目視で確認 →補助基板プラグ (L) のろう付け部を目視で確認 戦車の内部を開けて起動する →プラグLを触って動かし、反応を見る	<ul style="list-style-type: none"> ●最初にプラグが緩んでいたら差し込む ●補助基板プラグのろう付け部が破損しているか、グラグラしているように見える場合 →部品交換が必要 ●補助基板プラグに触ればLEDが反応する場合 (プラグが接続されていることはすでに確認している)、ろう付け不良 →補助基板の部品交換が必要

砲塔のモーターが動かない

原因	確認事項	解決策
プラグの接続不良／誤接続 ワイヤー断線または挟み込み ろう付け部の破損 モーターの不良 補助基板の不良 ギヤが動かない ギヤの破損 ギヤの欠落	目視で確認 →プラグAの接続を目視で確認 →プラグLの接続を目視で確認 →ワイヤーの断線や挟み込みがないかを目視で確認 →補助基板プラグAのろう付け部を目視で確認 →補助基板プラグLのろう付け部を目視で確認 →ギヤボックスの開口部や隙間を目視で確認 戦車の内部を開けて起動する →プラグAまたはLを触って動かし、反応を見る →モーター付近のワイヤーを引いたり押ししたりして動かし、反応を確認する 操作時に音を聞く →モーター音は聞こえるが、動作しない →ゆっくり回っている音はするが、動作しない →ゆっくり回っている音がしており、止まりながらも動作している →まったく音がしない	<ul style="list-style-type: none"> ●最初にプラグが緩んでいたら差し込む ●ワイヤーの断線や挟み込み →部品の交換、またはハンダ付けを行う必要がある ●モーターに触ると反応する場合は、モーター部のろう付け不良 →部品交換が必要 ●補助基板プラグのろう付け部が破損しているか、グラグラしているように見える場合 →部品交換が必要 ●補助基板プラグに触ればモーターが反応し、かつプラグがしっかりと差し込まれている場合、ろう付け不良 →補助基板の部品交換が必要 ●ギヤの欠落または破損 →ギヤボックスを開けて、再度確認。交換が必要 ●ギヤが動かない →ギヤボックスを開けて、ギヤを確認・掃除して、グリースを塗布し、ギヤボックスを閉めて再度試す ●モーター過負荷／部品が動かない →砲塔組み立てに使用されているねじを緩める。再度試す。砲塔が動くまで繰り返す ●モーター不良 →部品交換が必要

排煙のスモークが出ない

原因	確認事項	解決策
プラグの接続不良／誤接続 ワイヤー断線または挟み込み ろう付け部の破損 モーターの不良 コイルの不良 ギヤが動かない ギヤの破損 ギヤの欠落	<p>目視で確認</p> <ul style="list-style-type: none"> →ワイヤーの断線や挟み込みがないかを目視で確認 →補助基板プラグDのろう付け部を目視で確認 →ギヤボックス基板上的のろう付け部が破損していないかを目視で確認 →ギヤボックスの開口部または隙間を目視で確認 <p>戦車の内部を開けて起動する</p> <ul style="list-style-type: none"> →プラグDを触って動かし、反応を見る →モーター付近のワイヤーを引いたり押ししたりして動かし、反応を確認する <p>操作時に音を聞く／見る</p> <ul style="list-style-type: none"> →モーター音は聞こえるが、スモークは出ない →モーター音は聞こえるが、スモークは出ない →モーター音は聞こえるが、スモークは出ない →ゆっくり回っている音はするが、スモークは出ない →まったく動作音がしない 	<ul style="list-style-type: none"> ●最初にプラグが緩んでいたら差し込む ●ワイヤーの断線や挟み込み <ul style="list-style-type: none"> →部品の交換、またはハンダ付けを行う必要がある ●モーターに触れば反応する場合は、モーター部のろう付け不良 <ul style="list-style-type: none"> →部品交換が必要 ●ギヤの欠落または破損 <ul style="list-style-type: none"> →ギヤボックスを開けて、再度確認。交換が必要 ●コイルの破損 <ul style="list-style-type: none"> →操作中にギヤボックスを開けて、コイルがオイルを燃焼させているかを確認 →コイルが機能していない場合は交換が必要 ●オイル不足／過多 <ul style="list-style-type: none"> →オイルを補充／オイルを燃やすために時間がかかるので少し待つ ●ギヤが動かない <ul style="list-style-type: none"> →ギヤボックスを開けて、ギヤを確認・掃除。グリースを塗布し、ギヤボックスを閉める。再度試す ●モーター不良 <ul style="list-style-type: none"> →部品交換が必要

カメラが作動しない

原因	確認事項	解決策
プラグの接続不良／誤接続 ワイヤー断線または挟み込み ろう付け部の破損 カメラの不良	<p>目視で確認</p> <ul style="list-style-type: none"> →プラグQの接続を目視で確認 →ワイヤーの断線や挟み込みがないかを目視で確認 <p>戦車の内部を開けて起動する</p> <ul style="list-style-type: none"> →プラグQを触って動かし、反応を見る →カメラ付近のワイヤーを引いたり押ししたりして動かし、反応を確認する →戦車を再起動し、反応を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ●最初にプラグが緩んでいたら差し込む ●ワイヤーの断線や挟み込み <ul style="list-style-type: none"> →部品交換、またはハンダ付けを行う必要がある ●触れば信号が発信される場合は、カメラのろう付け不良 <ul style="list-style-type: none"> →カメラの照明部品の交換が必要 ●補助基板プラグのろう付け部が破損しているか、グラグラしているように見える場合 <ul style="list-style-type: none"> →部品交換が必要 ●補助基板プラグに触れば信号が発信されて反応し、かつプラグがしっかりと押し込まれている場合は、ろう付け不良 <ul style="list-style-type: none"> →補助基板の部品交換が必要 ●アンテナの破損 <ul style="list-style-type: none"> →部品交換が必要

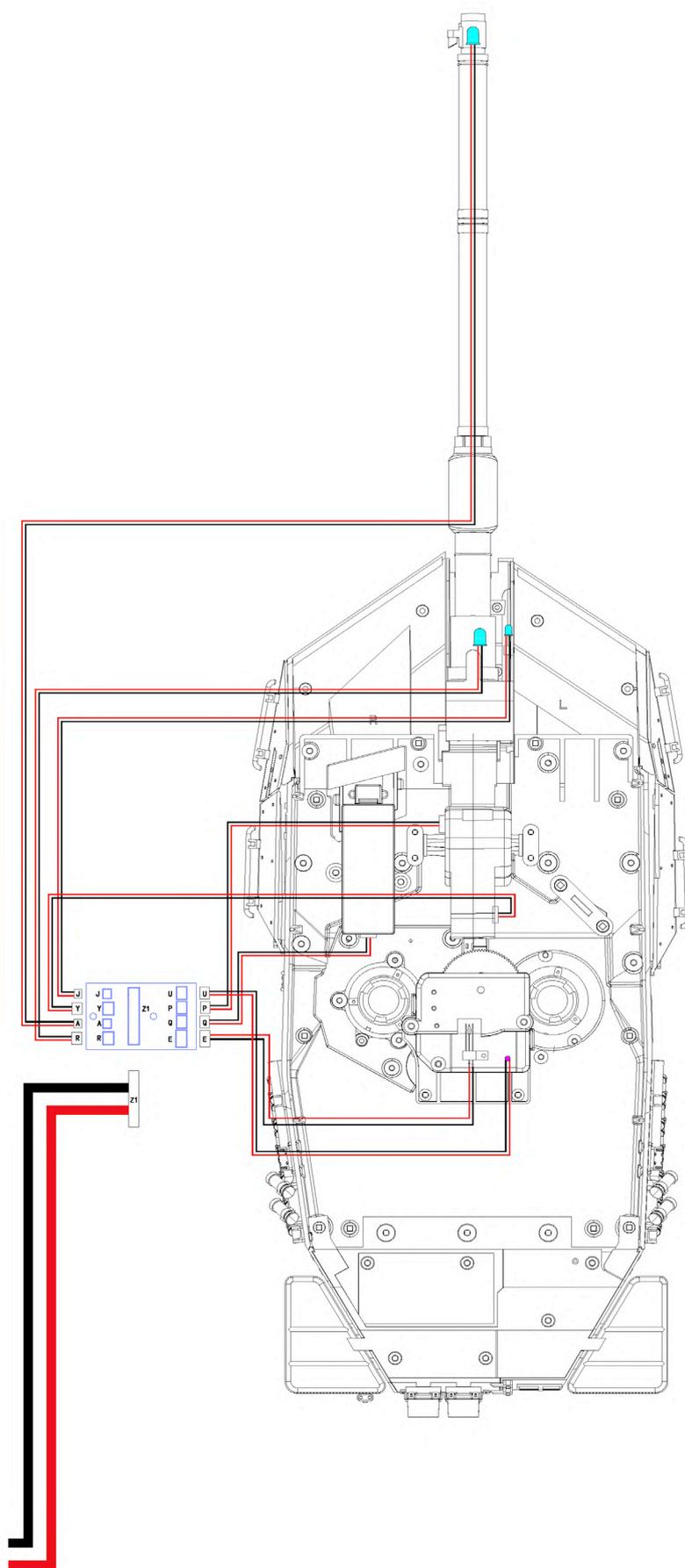
砲身が上がらない

原因	確認事項	解決策
プラグの接続不良／誤接続 ワイヤー断線または挟み込み ろう付け部の損傷 モーターの不良 補助基板の不良 ギヤが動かない ギヤの破損 ギヤの欠落	<p>目視で確認</p> <ul style="list-style-type: none"> →プラグUの接続を目視で確認 →プラグZ1の接続を目視で確認 →ワイヤーの断線や挟み込みがないかを目視で確認 →補助基板プラグUのろう付け部を目視で確認 →補助基板プラグZ1のろう付け部を目視で確認 →ギヤボックスの開口部や隙間の目視で確認 <p>戦車の内部を開けて起動する</p> <ul style="list-style-type: none"> →プラグUまたはZ1を触って動かし、反応を見る →モーター付近のワイヤーを引っ張ったり押ししたりして動かし、反応を確認する <p>操作時に音を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> →モーター音は聞こえるが、動作しない →ゆっくり回っている音はするが、動作しない →ゆっくり回っている音がしており、止まりながらも動作している →まったく動作音がしない 	<ul style="list-style-type: none"> ●最初にプラグが緩んでいたら差し込む ●ワイヤーの断線や挟み込み <ul style="list-style-type: none"> →部品の交換、またはハンダ付けを行う必要がある ●モーターに触れば反応する場合は、モーター部のろう付け不良 <ul style="list-style-type: none"> →部品交換が必要 ●補助基板プラグのろう付け部が破損しているか、グラグラしているように見える場合 <ul style="list-style-type: none"> →部品交換が必要 ●補助基板プラグに触ればモーターが反応し、かつプラグがしっかりと押し込まれている場合は、ろう付け不良 <ul style="list-style-type: none"> →補助基板の部品交換が必要 <ul style="list-style-type: none"> ●ギヤの欠落または破損 <ul style="list-style-type: none"> →ギヤボックスを開けて、再度確認。交換が必要 ●ギヤが動かない <ul style="list-style-type: none"> →ギヤボックスを開けて、ギヤを確認・掃除して、グリースを塗布。ギヤボックスを閉めて再度試す ●モーター過負荷／部品が動かない <ul style="list-style-type: none"> →砲身組み立てに使用されているねじを緩めて再度試す。これを砲身が動くまで繰り返す ●モーター不良 <ul style="list-style-type: none"> →部品交換が必要

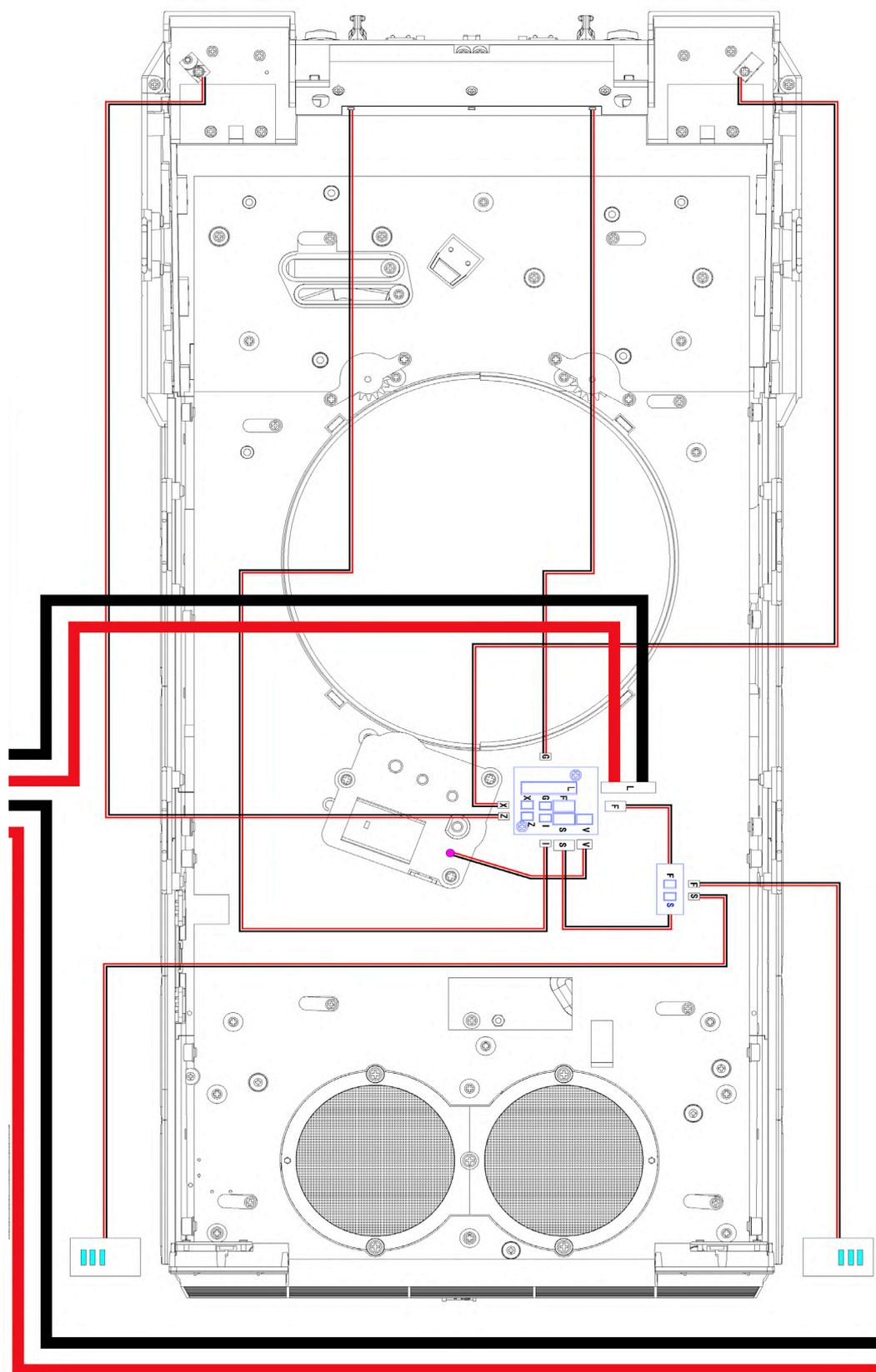


ケーブルの誤接続などを確認するには、次頁以降に掲出したケーブル配線図もご利用ください。

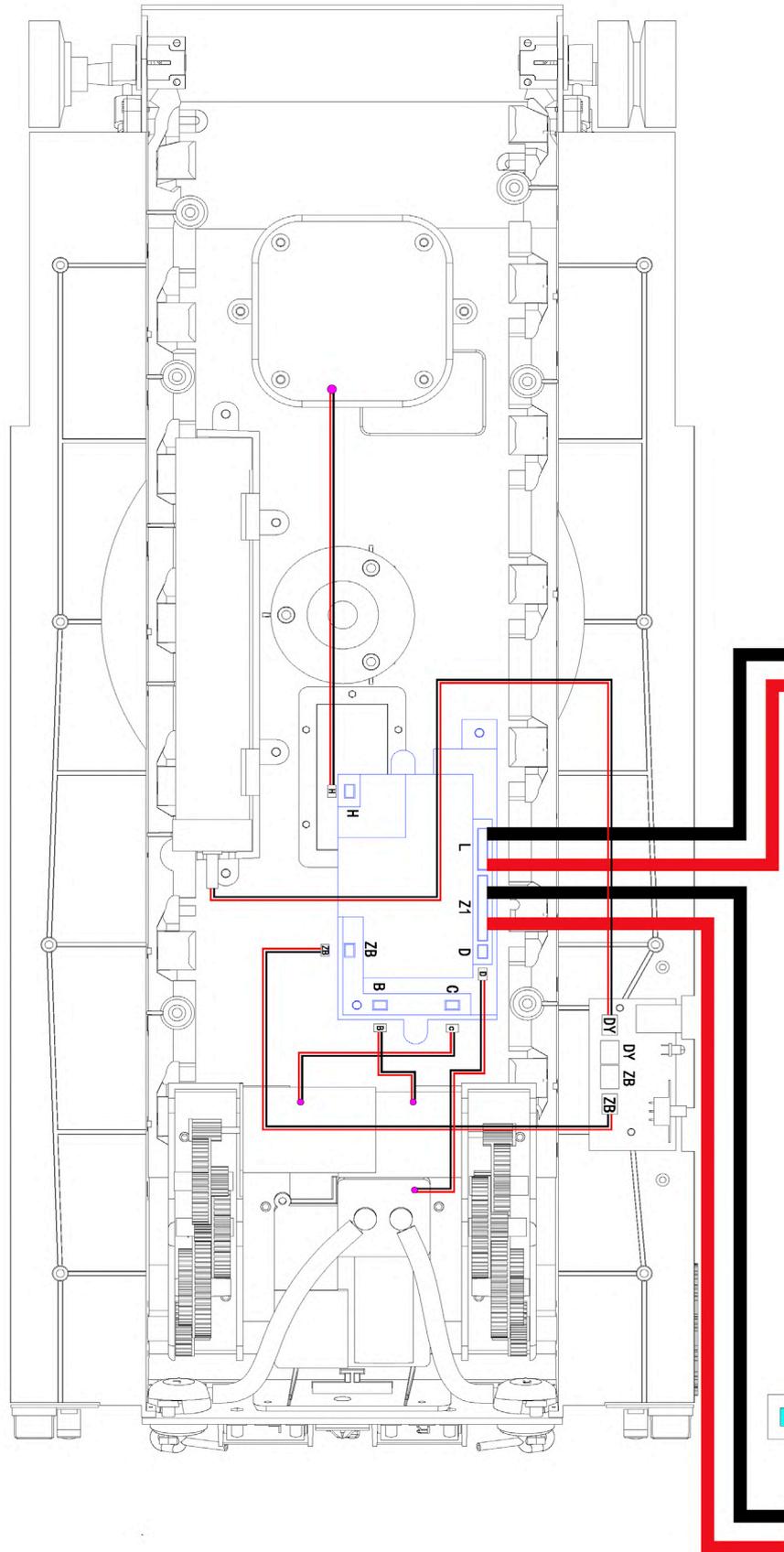
砲塔の配線図



ボディの配線図



本体内部の配線図



全体の配線図

